

国立市・立正大学共同研究

「生活保護を利用している方への適正な生活保護行政について」

令和3年度国立市生活保護利用者 アンケート結果概要

令和4年3月

国立市

立正大学

(共同研究責任者池谷秀登)

「令和3年度国立市生活保護利用者アンケート結果概要」について

令和3年10月に国立市と立正大学（共同研究責任者 池谷秀登）は共同研究「生活保護を利用している方への適正な生活保護行政について」を行うことについて合意いたしました。

この研究は、生活保護行政の課題等を利用者と行政の双方の視点から検討し、利用者に寄り添った自立支援の方法、事務処理懈怠の防止策及び不正受給を未然に防ぐための利用者支援等、適正な生活保護行政のあり方について研究することを目的としたものです。

この研究の柱の一つとして、国立市が生活保護を実施している在宅生活保護利用者のうち、稼働年齢以上の方を主な対象とし、①福祉事務所やケースワーカーの対応、②生活保護制度の評価と理解、③就労に対する考えと支援、④コロナ禍での日常生活、についてアンケート調査を行いました。

本報告は、そのアンケート結果の概要です。

今後このアンケート結果を分析、検討を行いよりよい生活保護行政の実現を目指したいと思います。

令和4年3月

国立市

立正大学共同研究責任者 社会福祉学部教授 池谷秀登

- * 本研究は立正大学社会福祉学部・立正大学大学院社会福祉学研究科合同倫理審査委員会の承認を受けております。
- * 本研究はJSPS科研費 JP20K02302の助成を受けたものです。

「令和3年度国立市生活保護利用者アンケート結果概要」について

I 調査の概要および回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査の項目	1
(3) 調査の設計	1
(4) 回収結果	1
(5) この報告書の留意点	1

2 回答者の属性	2
----------	---

II 調査結果

1 国立市福祉事務所とケースワーカーのことについて

(1) 困りごとや不安を感じたときの相談	5
(2) ケースワーカーとの対話	5
(3) ケースワーカーの説明のわかりやすさ	6
(4) ケースワーカーと話をするときの緊張度	6
(5) ケースワーカーの家庭訪問希望	7
(6) 国立市福祉事務所の窓口への行きやすさ	7
(7) ケースワーカーが1～2年で交代すること	8
(8) ケースワーカーとの関わりで印象に残っていること	8
(9) 福祉事務所から届く郵便の閲覧状況	9
(10) 福祉だよりのわかりやすさ	9
(11) 保護変更決定通知のわかりやすさ	10

2 生活保護について

(1) 生活保護の受給	11
(2) 保護のしおりの所有状況	11
(3) 保護のしおりの閲覧状況	12
(4) 保護のしおりのわかりやすさ	12
(5) 生活保護のことでわからない(知りたい)こと	13
(6) 収入申告について説明を受けたこと	13
(7) 収入申告の義務についての理解度	14
(8) 保護費以外の入金(収入)の申告	14
(9) 不正受給の説明	15
(10) 不正受給の説明の理解度	15

目次

(11) 保護費の返還	16
(12) 保護費の返還理由への納得	16
3 仕事について	
(1) 収入	17
(2) 仕事のことや転職に対する支援	17
(3) 働いて良かったと思うこと	18
(4) 労働意欲	18
(5) 仕事探しに対する支援	19
(6) 働きたいと思わない理由	19
4 日常生活について	
(1) 国立市健康診査（健康診断）	20
(2) 健康診査を受けようと思った理由	20
(3) 健康診査を受けていない理由	21
(4) 親戚や友人等と外で会う機会	21
(5) 親戚や友人等と月に1回以上連絡をする機会	22
(6) 親戚や友人等と会う頻度の減少	22
(7) コロナ禍前後での生活の変化	23
5 自由意見	
(1) 生活保護を受けて、良かったこと、良くなかったこと	24
(2) コロナ禍前後での具体的な生活の変化	28
Ⅲ アンケートの概要	
1 使用した送付状及び調査票	30
2 集計結果（単純集計結果）	39

I 調査の概要および回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、利用者アンケートを通し生活保護利用者の制度理解とニーズを把握、分析することにより、生活保護利用者への適切な相談援助（ケースワーク）と生活保護利用者の自立助長の推進に寄与することを目的とする。

(2) 調査の項目

- ① 国立市福祉事務所とケースワーカーのことについて
- ② 生活保護について
- ③ 仕事について
- ④ 日常生活について

(3) 調査の設計

- ① 調査対象 国立市在住の生活保護利用者
- ② 標本数 922件（うち2件は世帯状況の変化から返送不可となったため調査対象外）
- ③ 調査方法 郵送法（郵送による配布・回収）
- ④ 調査期間 令和3年12月17日（金）～令和4年1月14日（金）
- ⑤ 調査実施機関 株式会社エスピー研

(4) 回収結果

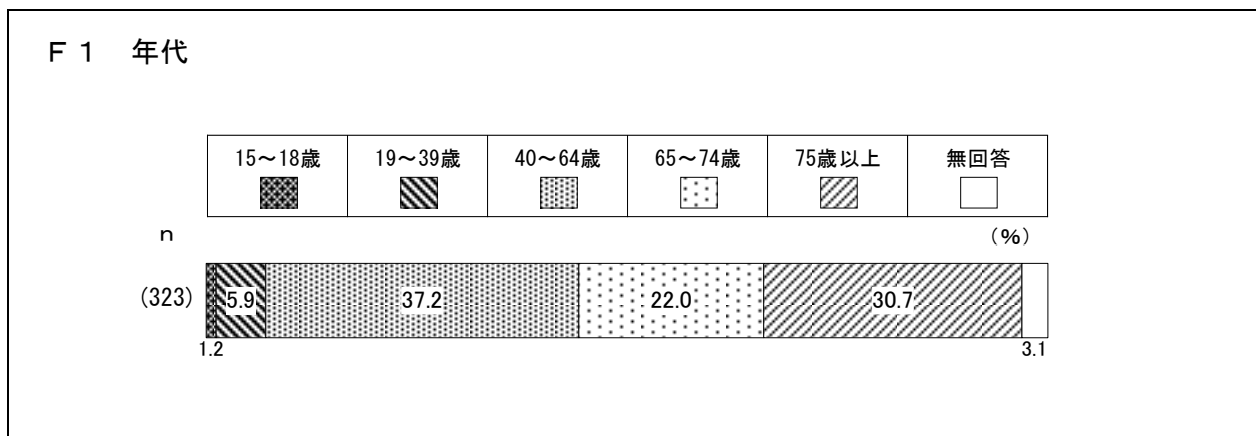
年代	有効発送数	有効回収数	有効回収率
15～18歳	18件	4件	22.2%
19～39歳	119件	19件	16.0%
40～64歳	364件	120件	33.0%
65～74歳	218件	71件	32.6%
75歳以上	201件	99件	49.3%
無回答		10件	
合計	920件	323件	35.1%

(5) この報告書の留意点

- ① 図表中の「n」は、各質問の回答者数を示す。
- ② 回答の比率（%）は、nを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで示した。したがって、選択肢の中から1つの回答を選ぶ質問であっても、すべての選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ③ 選択肢の中から複数の回答を選んでもよい質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。

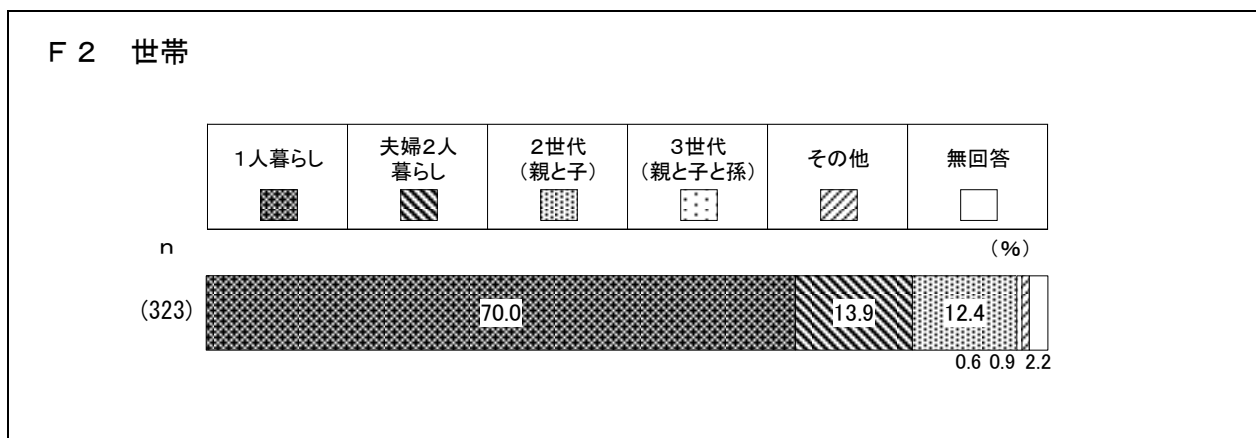
2 回答者の属性

(1) 年代



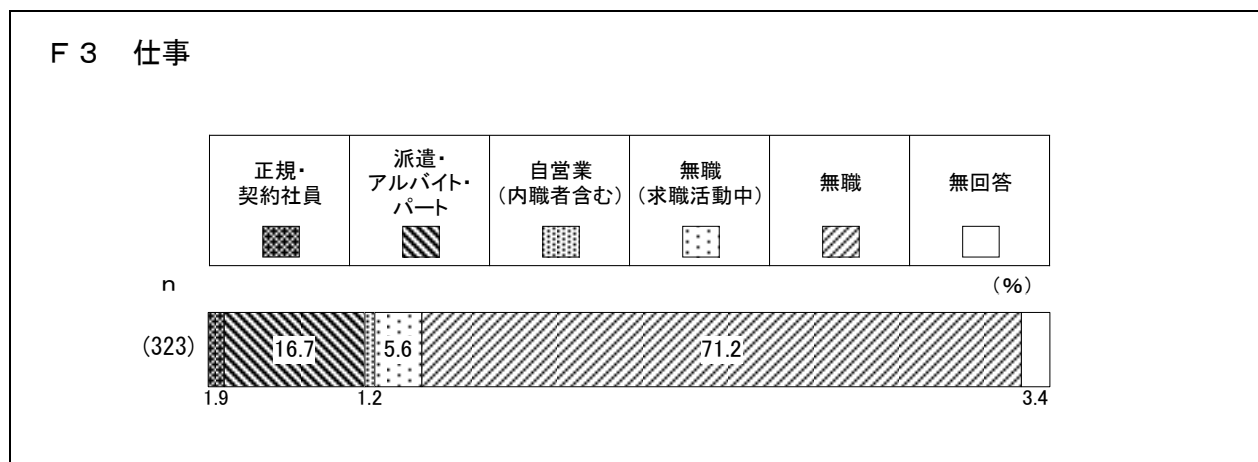
年代をみると、「40~64歳」が37.2%で最も多く、次いで「75歳以上」(30.7%)、「65~74歳」(22.0%)、「19~39歳」(5.9%)、「15~18歳」(1.2%)となっている。

(2) 世帯



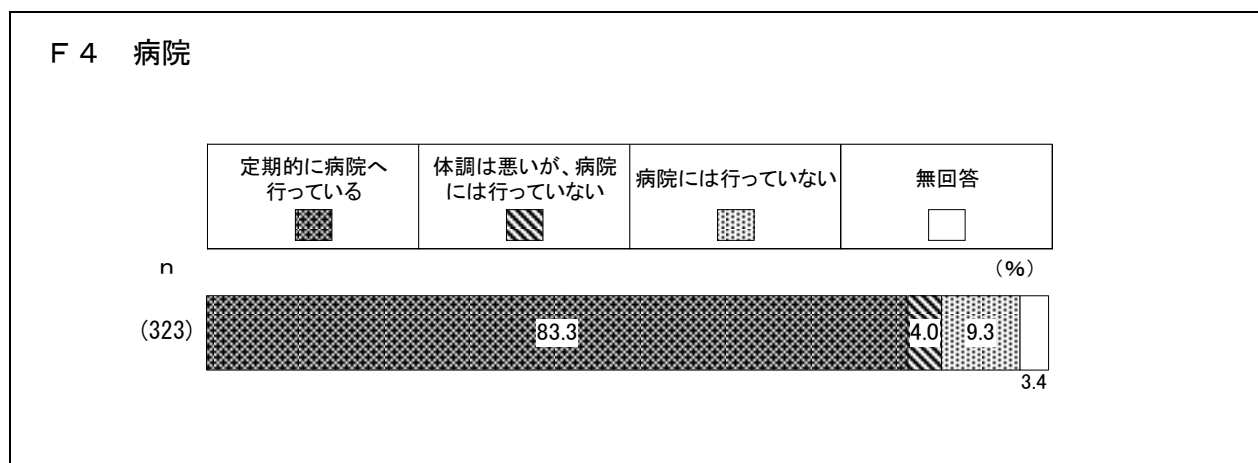
世帯をみると、「1人暮らし」が70.0%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし」(13.9%)、「2世代(親と子)」(12.4%)、「3世代(親と子と孫)」(0.6%)となっている。

(3) 仕事



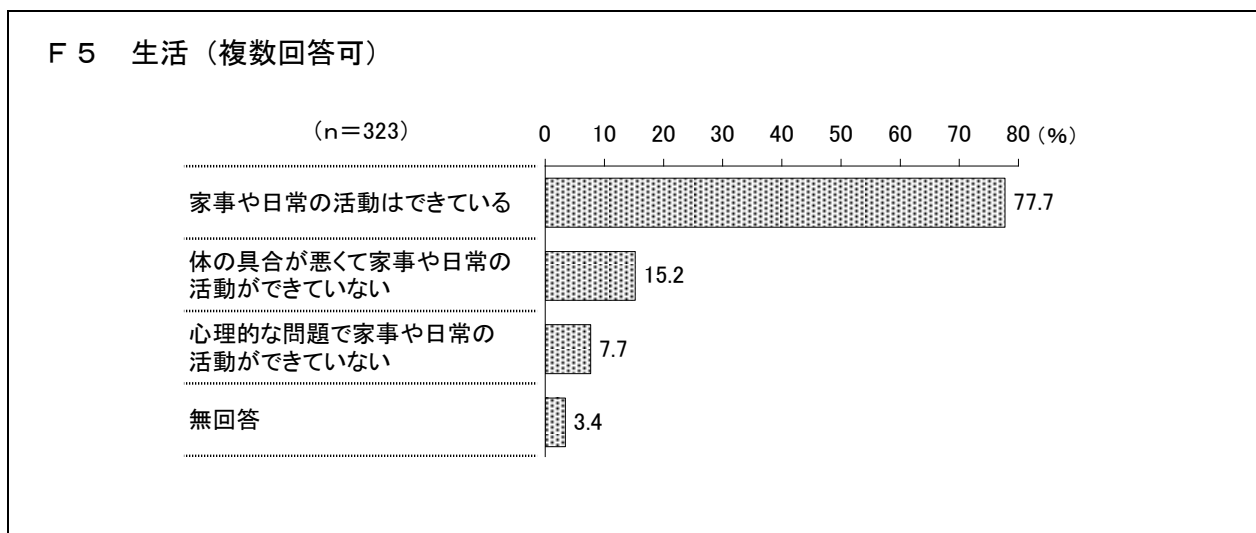
仕事をみると、「無職」が71.2%で最も多く、次いで「派遣・アルバイト・パート」(16.7%)、「無職 (求職活動中)」(5.6%)、「正規・契約社員」(1.9%)、「自営業 (内職者含む)」(1.2%)となっている。

(4) 病院



通院状況をみると、「定期的に病院へ行っている」が83.3%となっている。一方、「体調は悪いが、病院には行っていない」は4.0%、「病院には行っていない」は9.3%となっている。

(5) 生活

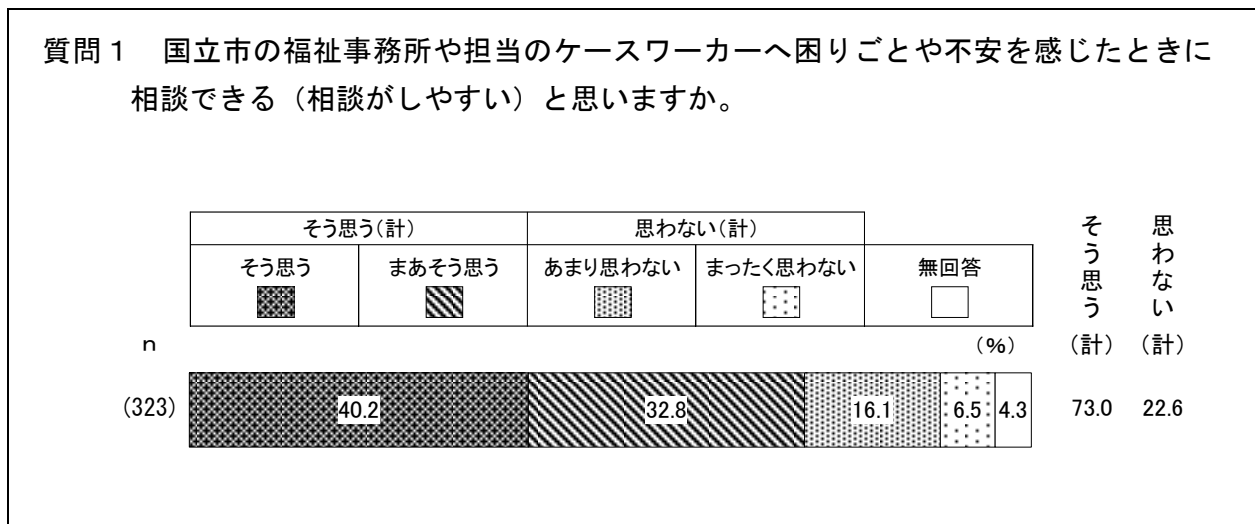


生活についてみると、「家事や日常の活動はできている」が77.7%で最も多く、次いで「体の具合が悪くて家事や日常の活動ができていない」(15.2%)、「心理的な問題で家事や日常の活動ができていない」(7.7%)となっている。

II 調査結果

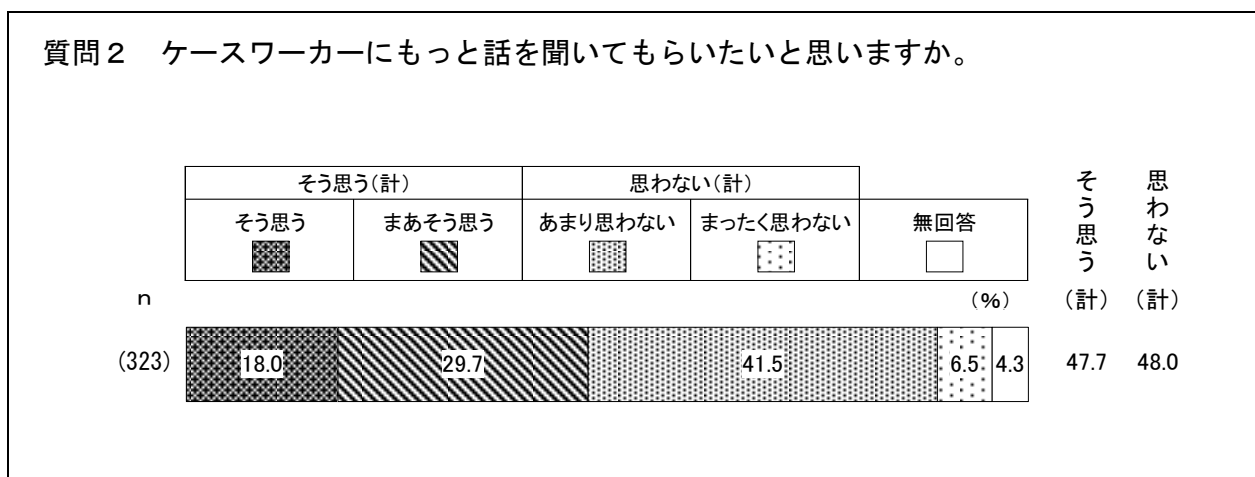
1 国立市福祉事務所とケースワーカーのことについて

(1) 困りごとや不安を感じたときの相談



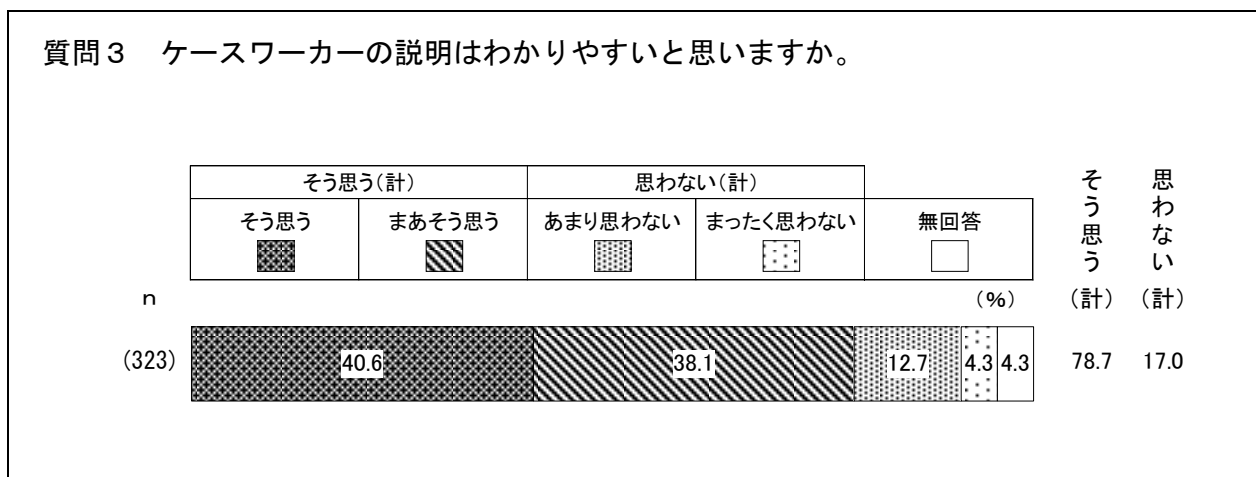
困りごとや不安を感じたときに相談できる（相談がしやすい）と思うか聞いたところ、「そう思う」（40.2%）と「まあそう思う」（32.8%）を合わせた『そう思う（計）』は73.0%となっている。一方、「あまり思わない」（16.1%）と「まったく思わない」（6.5%）を合わせた『思わない（計）』は22.6%となっている。

(2) ケースワーカーとの対話



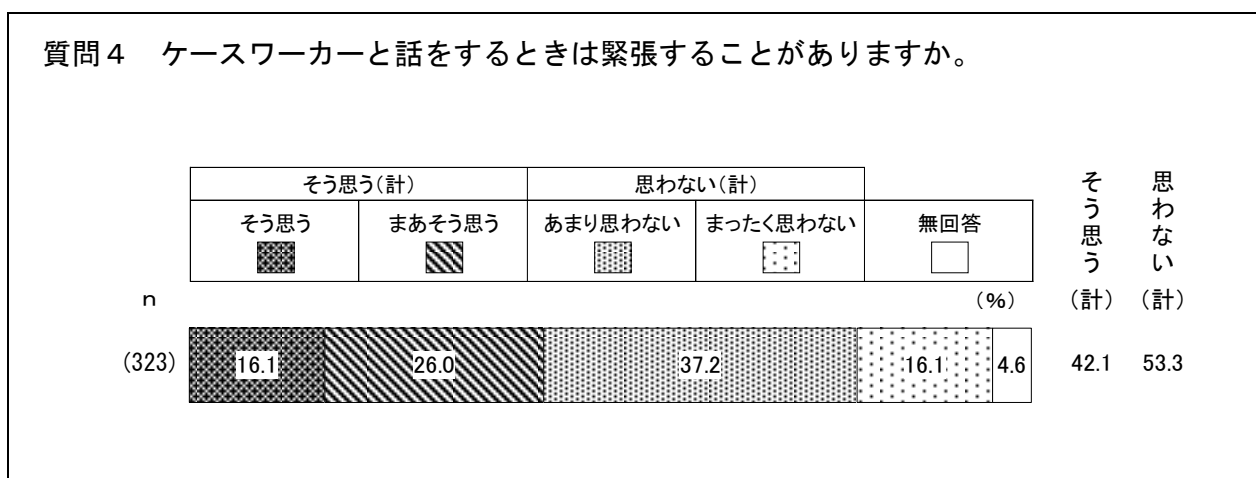
ケースワーカーにもっと話を聞いてもらいたいと思うか聞いたところ、「そう思う」（18.0%）と「まあそう思う」（29.7%）を合わせた『そう思う（計）』は47.7%となっている。一方、「あまり思わない」（41.5%）と「まったく思わない」（6.5%）を合わせた『思わない（計）』は48.0%となっている。

(3) ケースワーカーの説明のわかりやすさ



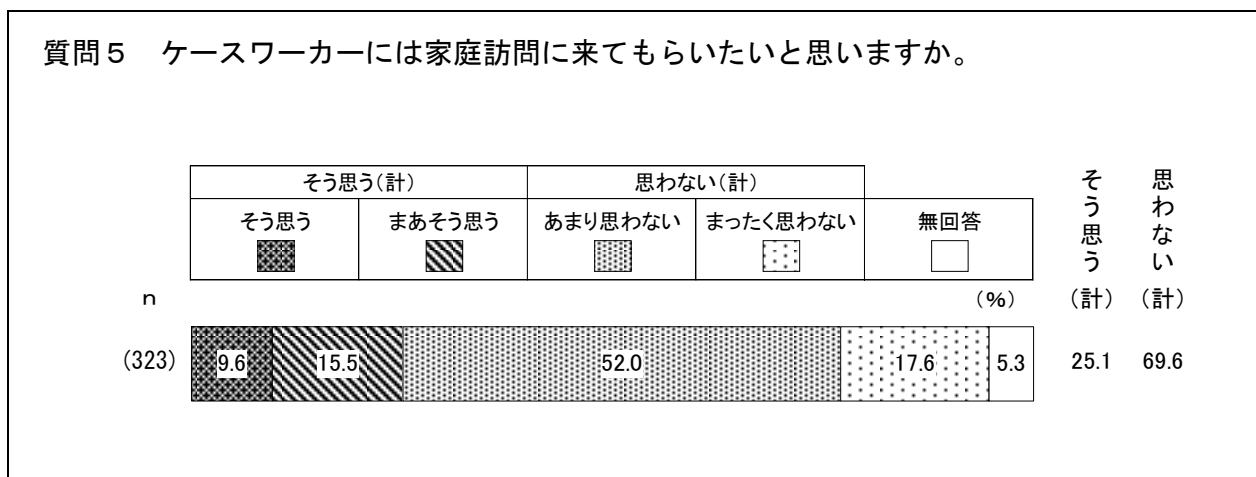
ケースワーカーの説明はわかりやすいと思うか聞いたところ、「そう思う」(40.6%)と「まあそう思う」(38.1%)を合わせた『そう思う(計)』は78.7%となっている。一方、「あまり思わない」(12.7%)と「まったく思わない」(4.3%)を合わせた『思わない(計)』は17.0%となっている。

(4) ケースワーカーと話をするときの緊張度



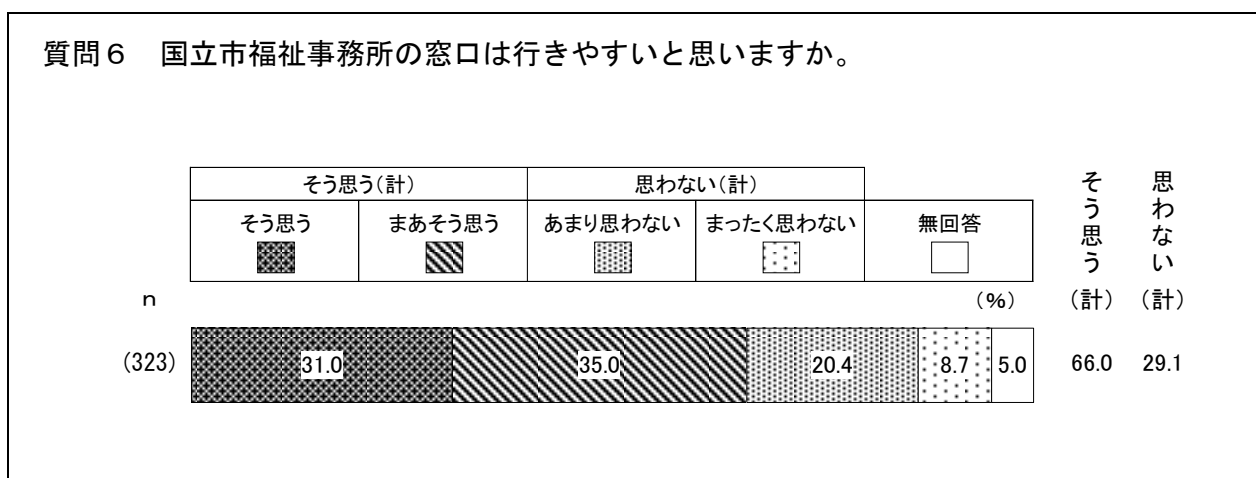
ケースワーカーと話をするときには緊張することがあるか聞いたところ、「そう思う」(16.1%)と「まあそう思う」(26.0%)を合わせた『そう思う(計)』は42.1%となっている。一方、「あまり思わない」(37.2%)と「まったく思わない」(16.1%)を合わせた『思わない(計)』は53.3%となっている。

(5) ケースワーカーの家庭訪問希望



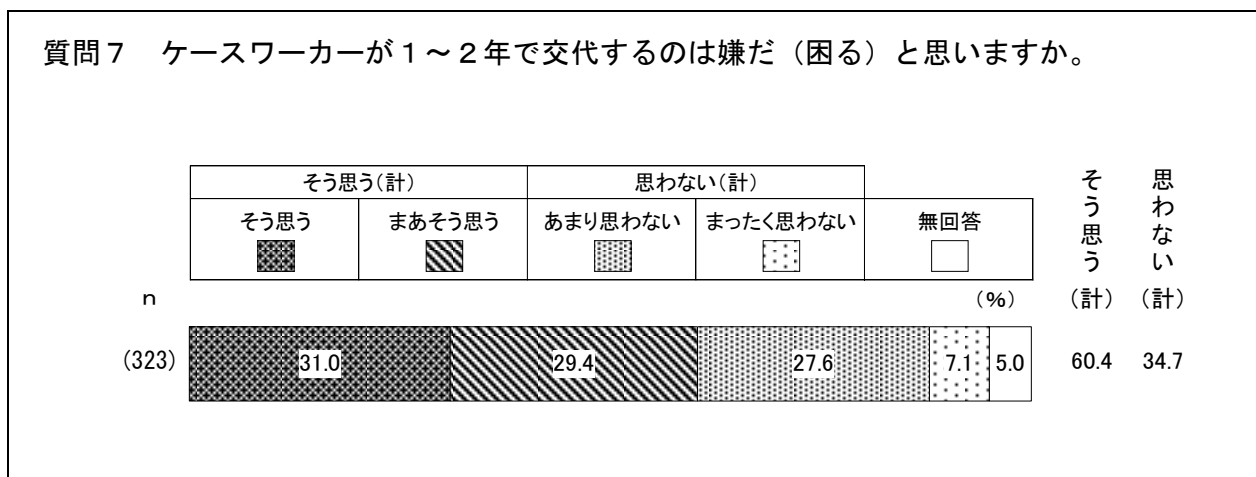
ケースワーカーには家庭訪問に来てもらいたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(9.6%)と「まあそう思う」(15.5%)を合わせた『そう思う(計)』は25.1%となっている。一方、「あまり思わない」(52.0%)と「まったく思わない」(17.6%)を合わせた『思わない(計)』は69.6%となっている。

(6) 国立市福祉事務所の窓口への行きやすさ



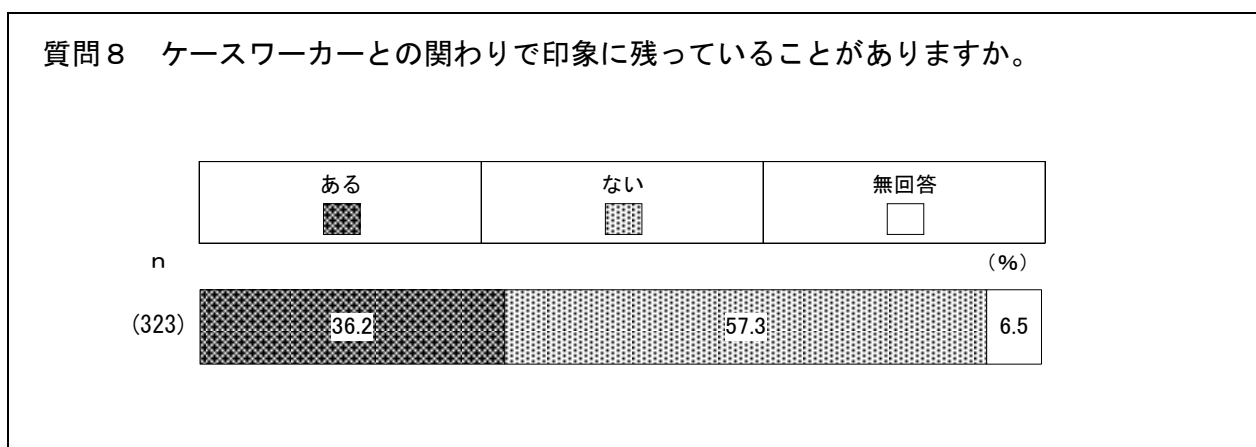
国立市福祉事務所の窓口は行きやすいと思うか聞いたところ、「そう思う」(31.0%)と「まあそう思う」(35.0%)を合わせた『そう思う(計)』は66.0%となっている。一方、「あまり思わない」(20.4%)と「まったく思わない」(8.7%)を合わせた『思わない(計)』は29.1%となっている。

(7) ケースワーカーが1～2年で交代すること



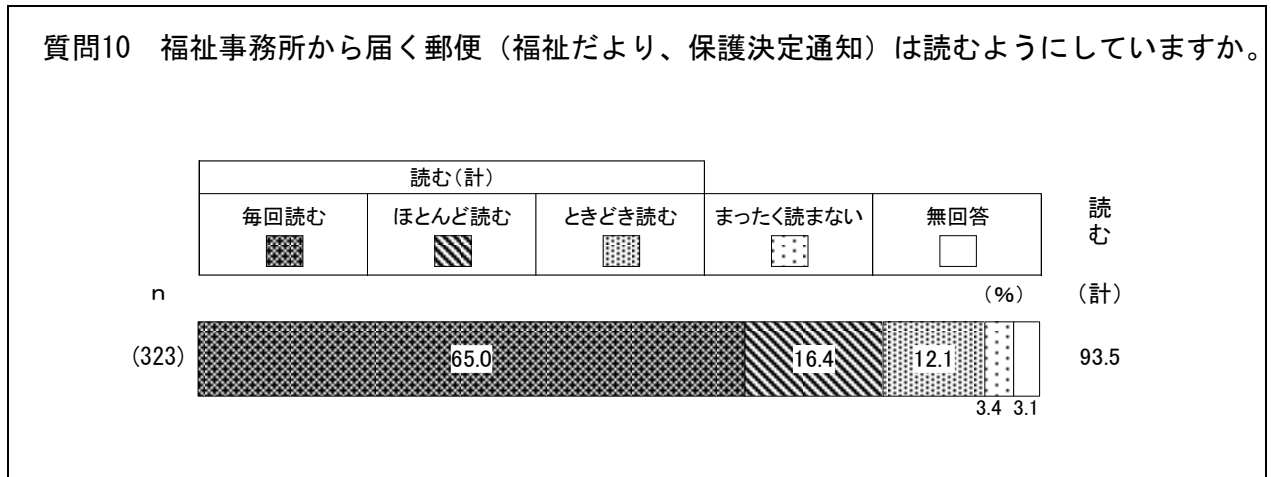
ケースワーカーが1～2年で交代するのは嫌だ（困る）と思うか聞いたところ、「そう思う」（31.0%）と「まあそう思う」（29.4%）を合わせた『そう思う（計）』は60.4%となっている。一方、「あまり思わない」（27.6%）と「まったく思わない」（7.1%）を合わせた『思わない（計）』は34.7%となっている。

(8) ケースワーカーとの関わりで印象に残っていること



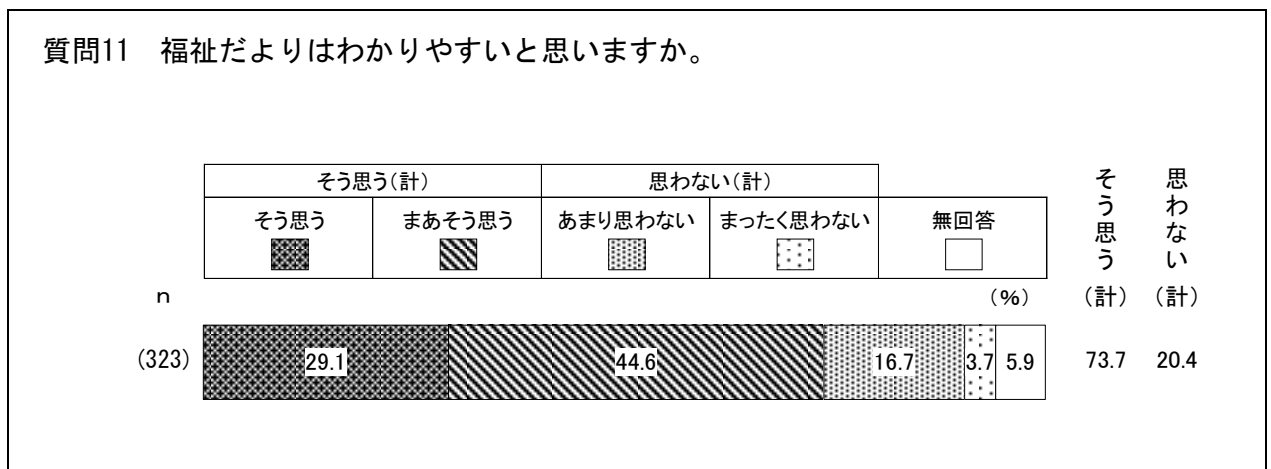
ケースワーカーとの関わりで印象に残っていることがあるか聞いたところ、「ある」が36.2%、「ない」は57.3%となっている。

(9) 福祉事務所から届く郵便の閲覧状況



福祉事務所から届く郵便の閲覧状況を聞いたところ、「毎回読む」が65.0%で最も多く、これに「ほとんど読む」(16.4%)と「ときどき読む」(12.1%)を合わせた『読む(計)』は93.5%となっている。一方、「まったく読まない」は3.4%となっている。

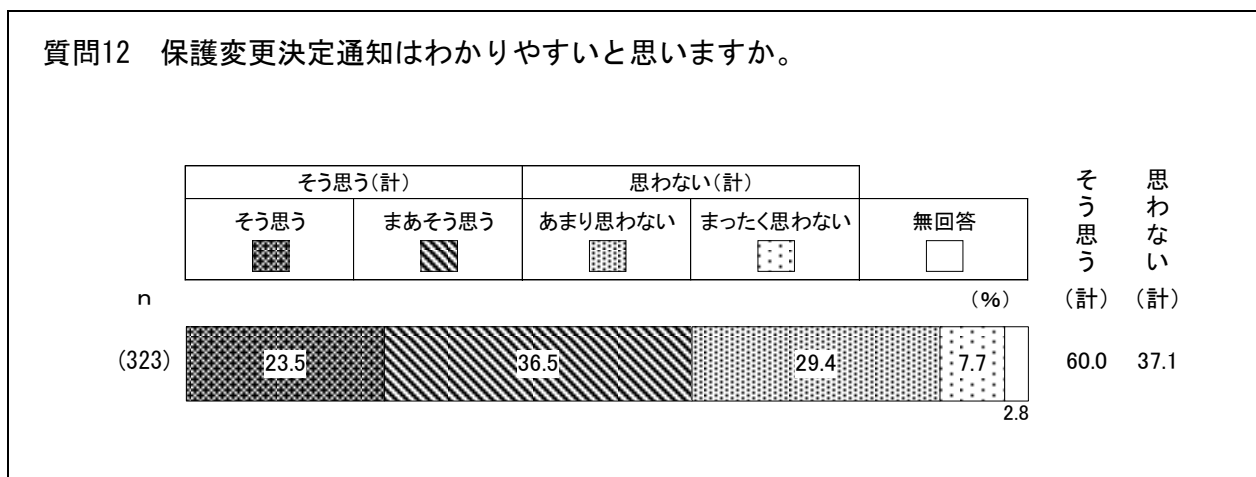
(10) 福祉だよりのわかりやすさ



福祉だよりはわかりやすいと思うか聞いたところ、「そう思う」(29.1%)と「まあそう思う」(44.6%)を合わせた『そう思う(計)』は73.7%となっている。一方、「あまり思わない」(16.7%)と「まったく思わない」(3.7%)を合わせた『思わない(計)』は20.4%となっている。

※福祉だよりとは、年2回程度、市が発行している生活保護利用者向けのおしらせ

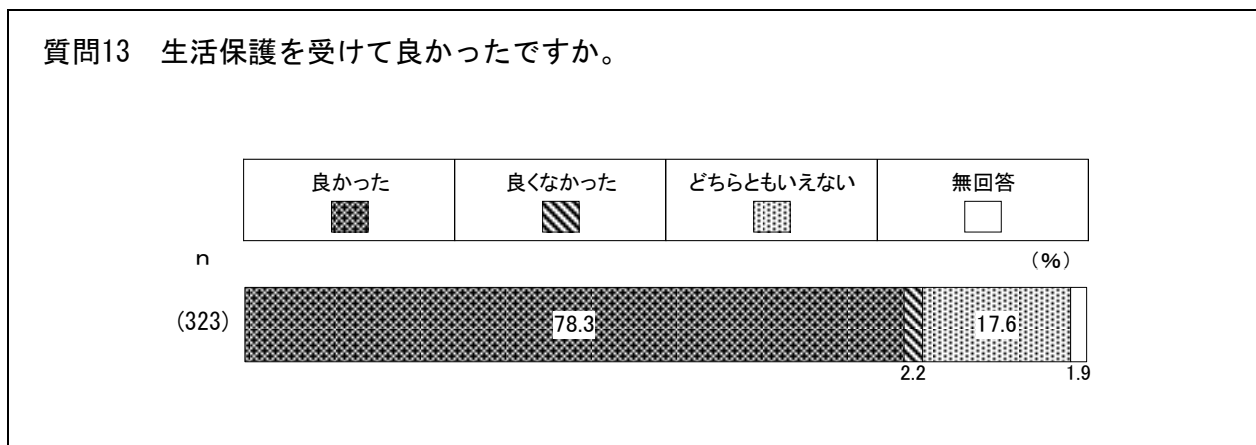
(11) 保護変更決定通知のわかりやすさ



保護変更決定通知はわかりやすいと思うか聞いたところ、「そう思う」(23.5%)と「まあそう思う」(36.5%)を合わせた『そう思う(計)』は60.0%となっている。一方、「あまり思わない」(29.4%)と「まったく思わない」(7.7%)を合わせた『思わない(計)』は37.1%となっている。

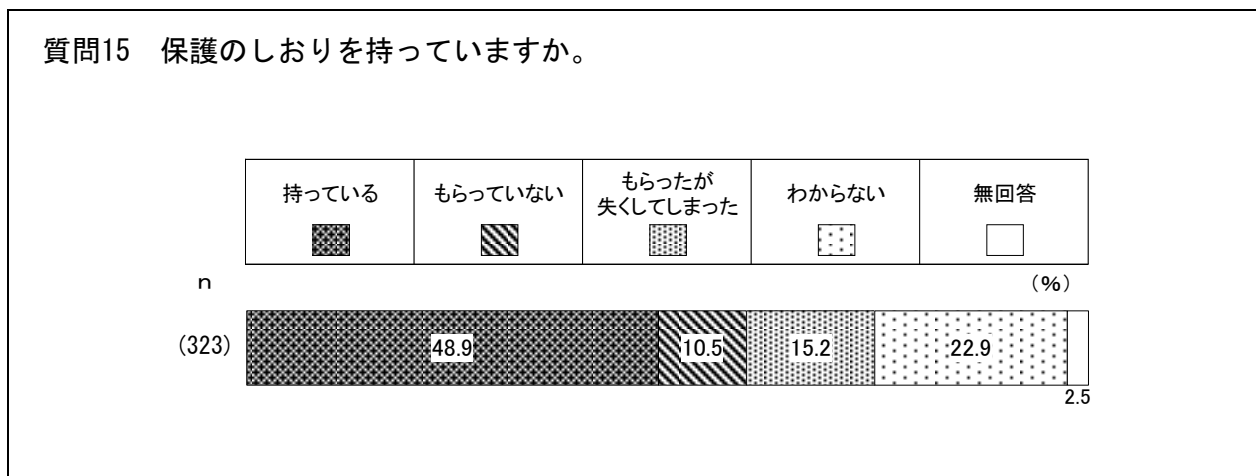
2 生活保護について

(1) 生活保護の受給



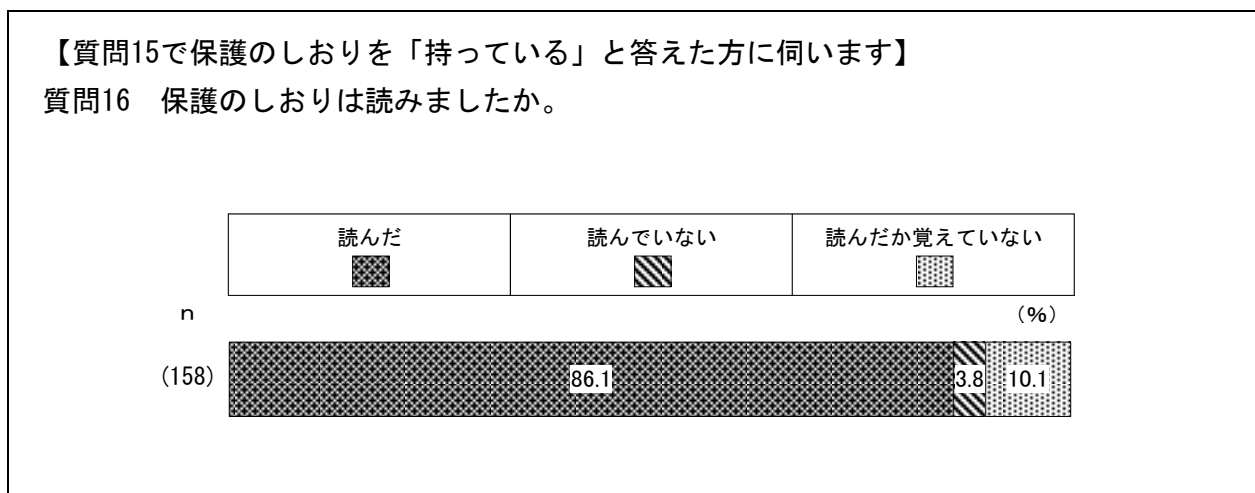
生活保護を受けて良かったか聞いたところ、「良かった」が78.3%、「良くなかった」は2.2%となっている。また、「どちらともいえない」は17.6%となっている。

(2) 保護のしおりの所有状況



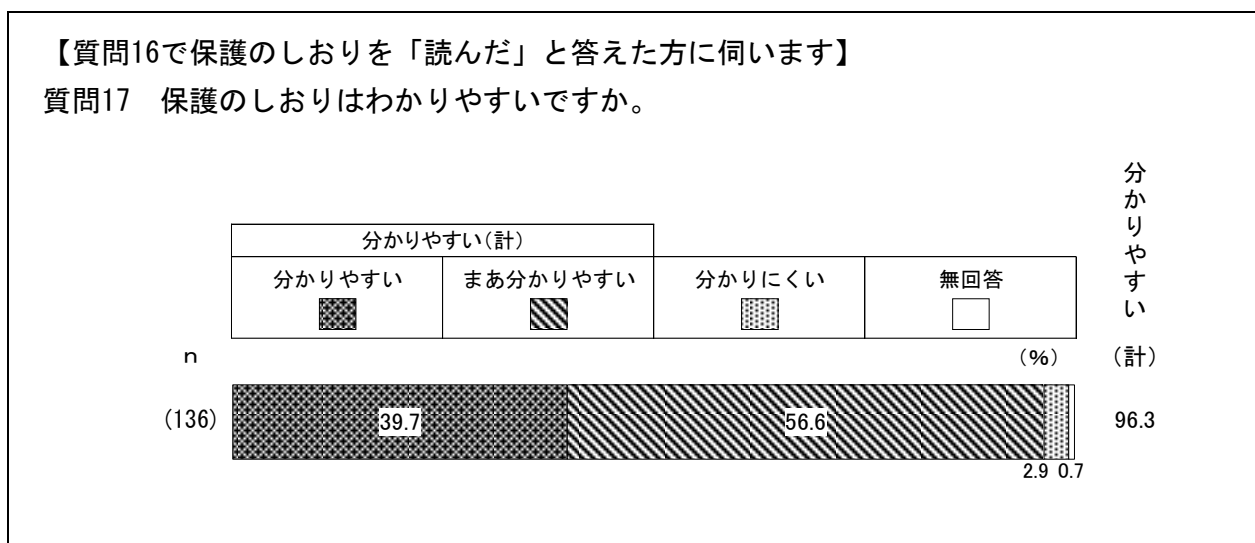
保護のしおりを持っているか聞いたところ、「持っている」が48.9%となっている。一方、「もらっていない」は10.5%、「もらったが失くしてしまった」は15.2%、「わからない」は22.9%となっている。

(3) 保護のしおりの閲覧状況



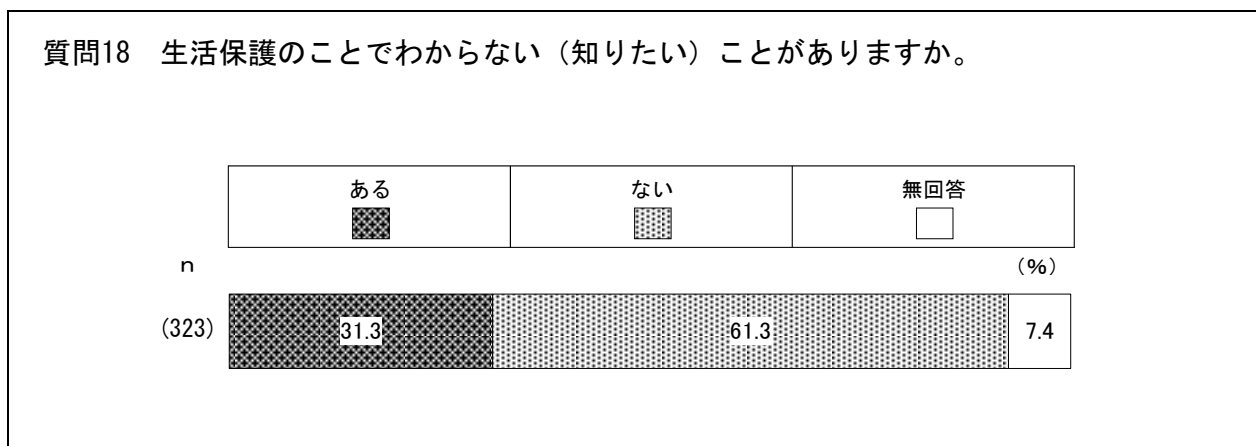
保護のしおりを「持っている」と答えた方に、保護のしおりを読んだか聞いたところ、「読んだ」が86.1%となっている。一方、「読んでいない」は3.8%、「読んだか覚えていない」は10.1%となっている。

(4) 保護のしおりのわかりやすさ



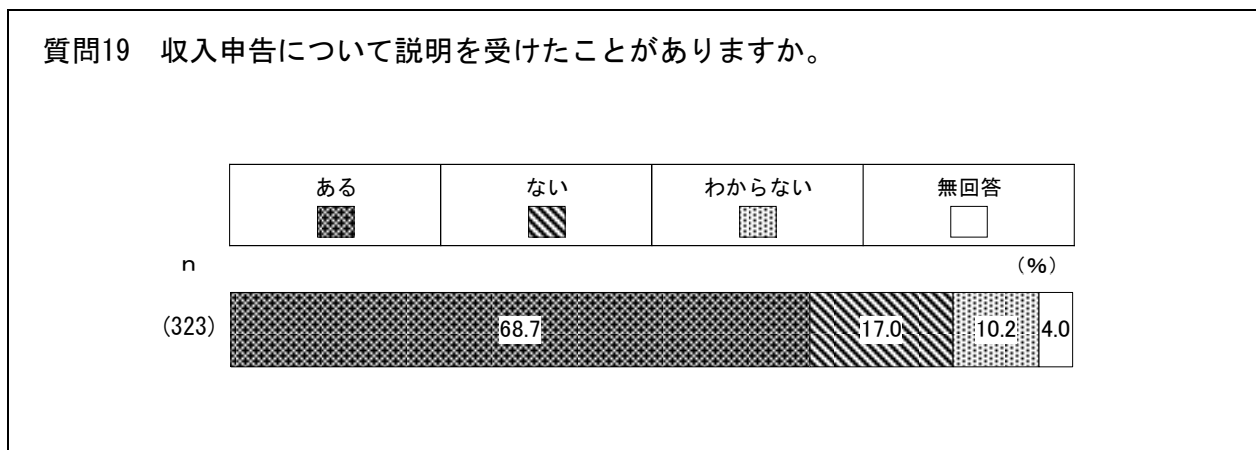
保護のしおりを「読んだ」と答えた方に、保護のしおりはわかりやすいか聞いたところ、「分かりやすい」(39.7%)と「まあ分かりやすい」(56.6%)を合わせた『分かりやすい(計)』は96.3%となっている。一方、「分かりにくい」は2.9%となっている。

(5) 生活保護のことでわからない(知りたい) こと



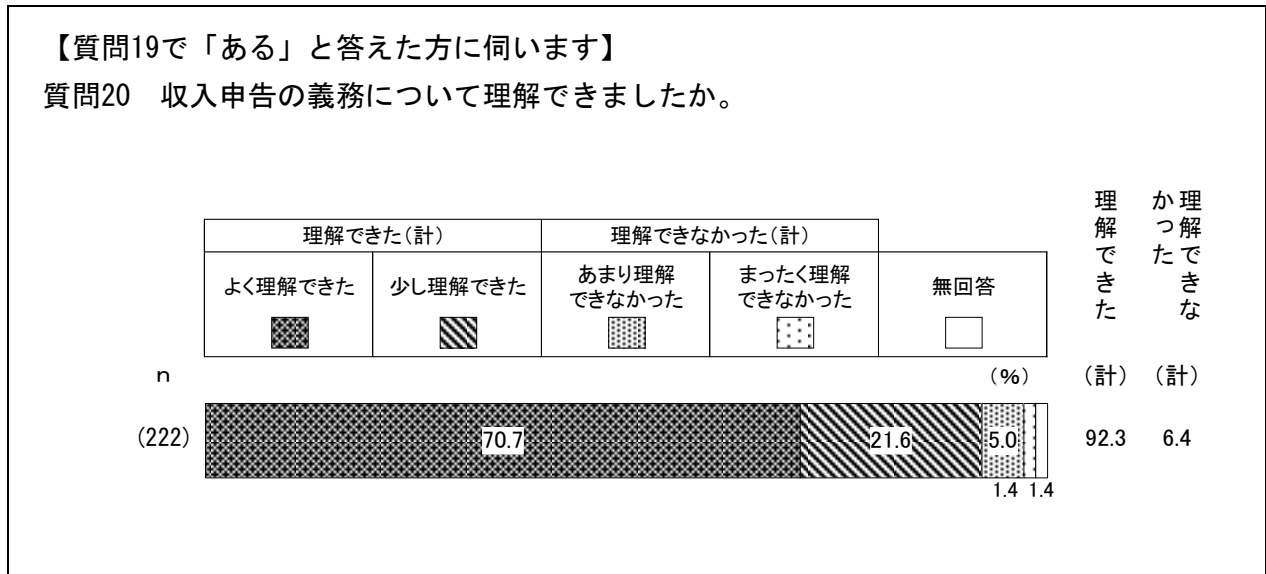
生活保護のことでわからない(知りたい) ことがあるか聞いたところ、「ある」が31.3%、「ない」は61.3%となっている。

(6) 収入申告について説明を受けたこと



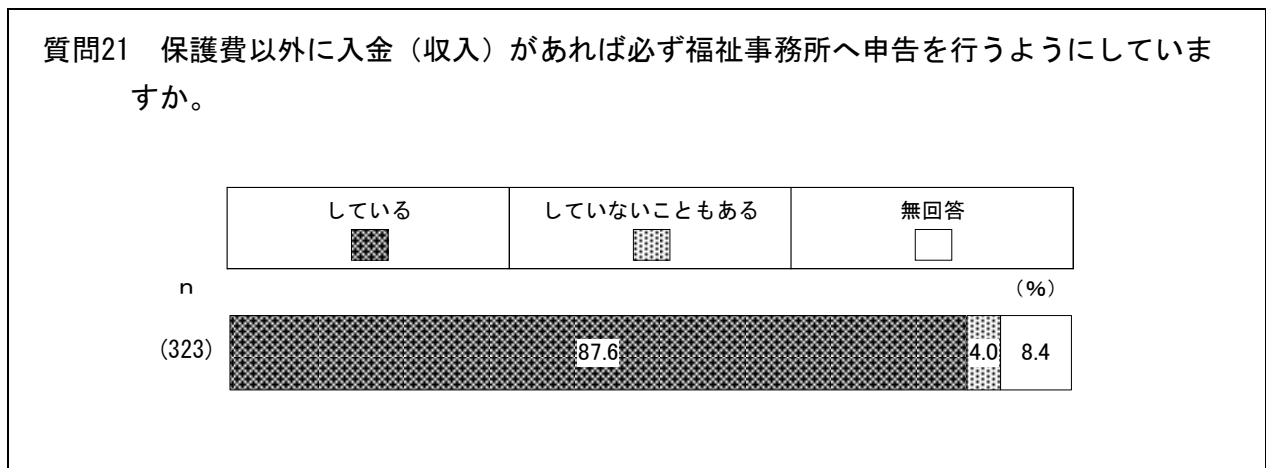
収入申告について説明を受けたことがあるか聞いたところ、「ある」が68.7%、「ない」は17.0%となっている。また、「わからない」は10.2%となっている。

(7) 収入申告の義務についての理解度



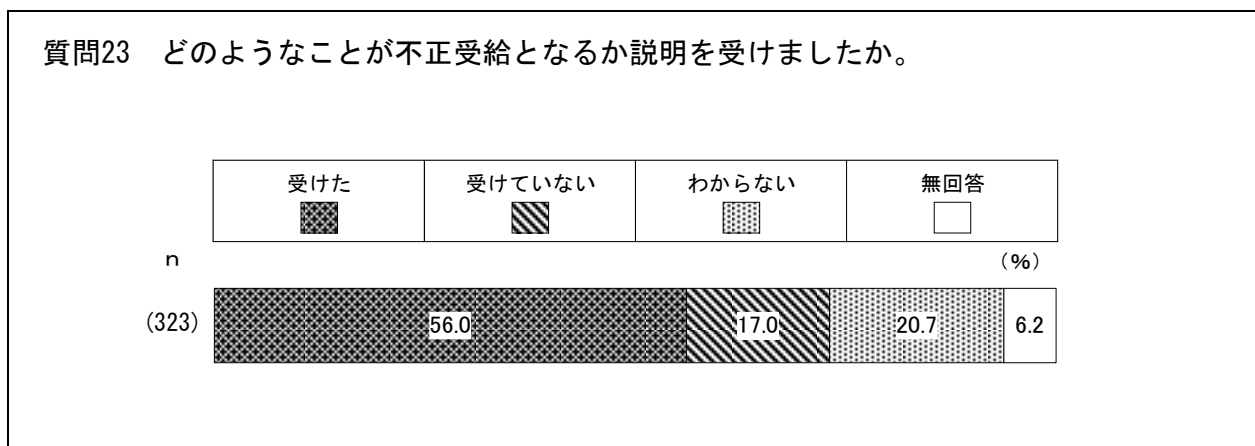
収入申告について説明を受けたことが「ある」と答えた方に、収入申告の義務について理解できたか聞いたところ、「よく理解できた」(70.7%)と「少し理解できた」(21.6%)を合わせた『理解できた(計)』は92.3%となっている。一方、「あまり理解できなかった」(5.0%)と「まったく理解できなかった」(1.4%)を合わせた『理解できなかった(計)』は6.4%となっている。

(8) 保護費以外に入金(収入)の申告



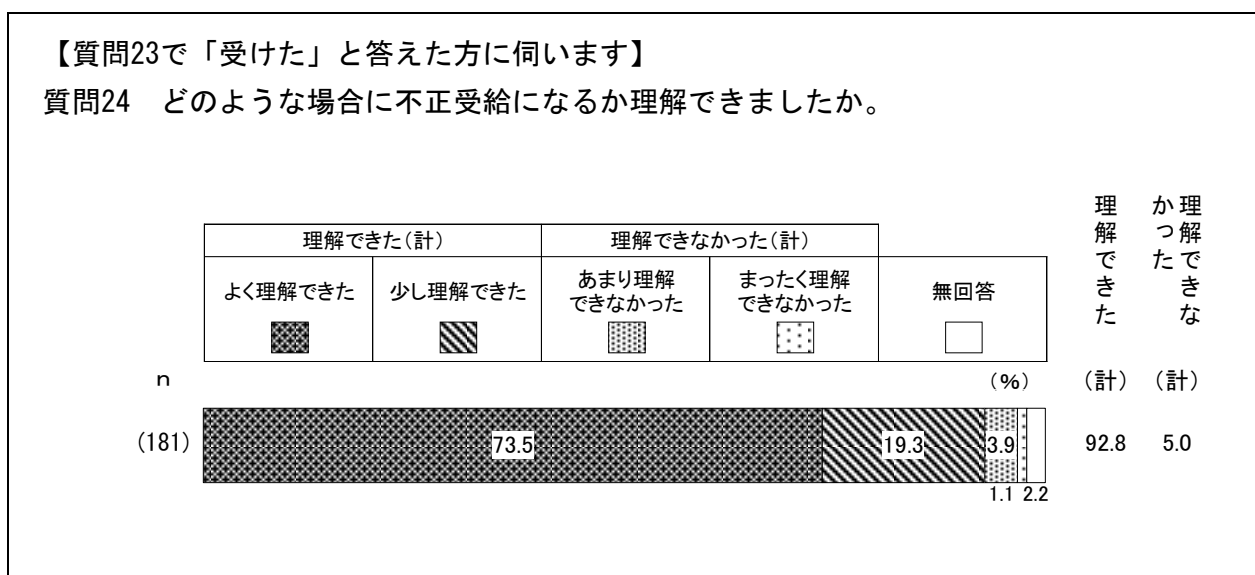
保護費以外に入金(収入)があれば必ず福祉事務所へ申告を行うようにしているか聞いたところ、「している」が87.6%、「していないこともある」は4.0%となっている。

(9) 不正受給の説明



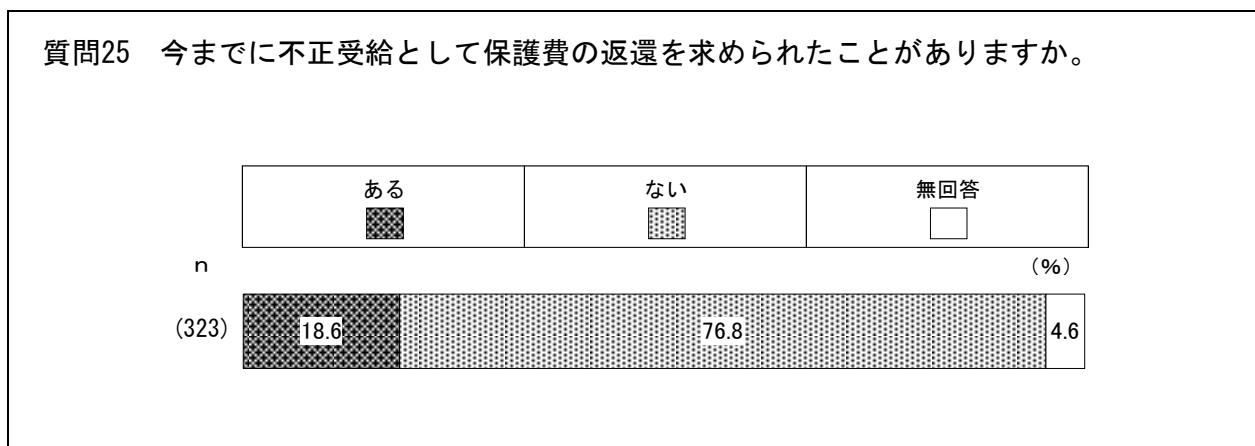
どのようなことが不正受給となるか説明を受けたか聞いたところ、「受けた」が56.0%、「受けていない」は17.0%となっている。また、「わからない」は20.7%となっている。

(10) 不正受給の説明の理解度



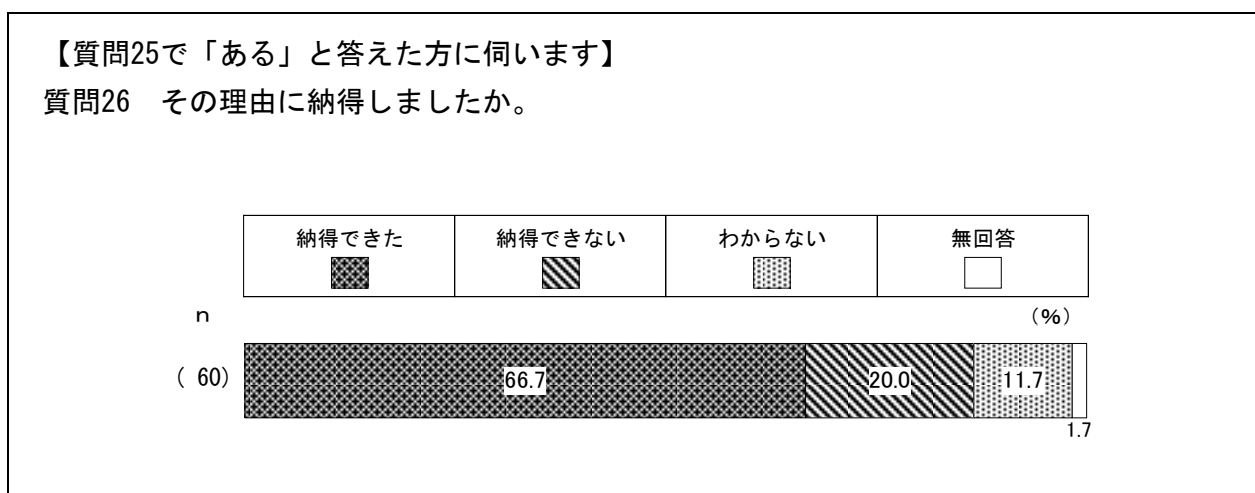
どのようなことが不正受給となるか説明を「受けた」と答えた方に、どのような場合に不正受給になるか理解できたか聞いたところ、「よく理解できた」(73.5%)と「少し理解できた」(19.3%)を合わせた『理解できた(計)』は92.8%となっている。一方、「あまり理解できなかった」(3.9%)と「まったく理解できなかった」(1.1%)を合わせた『理解できなかった(計)』は5.0%となっている。

(11) 保護費の返還



今までに不正受給として保護費の返還を求められたことがあるか聞いたところ、「ある」が18.6%、「ない」は76.8%となっている。

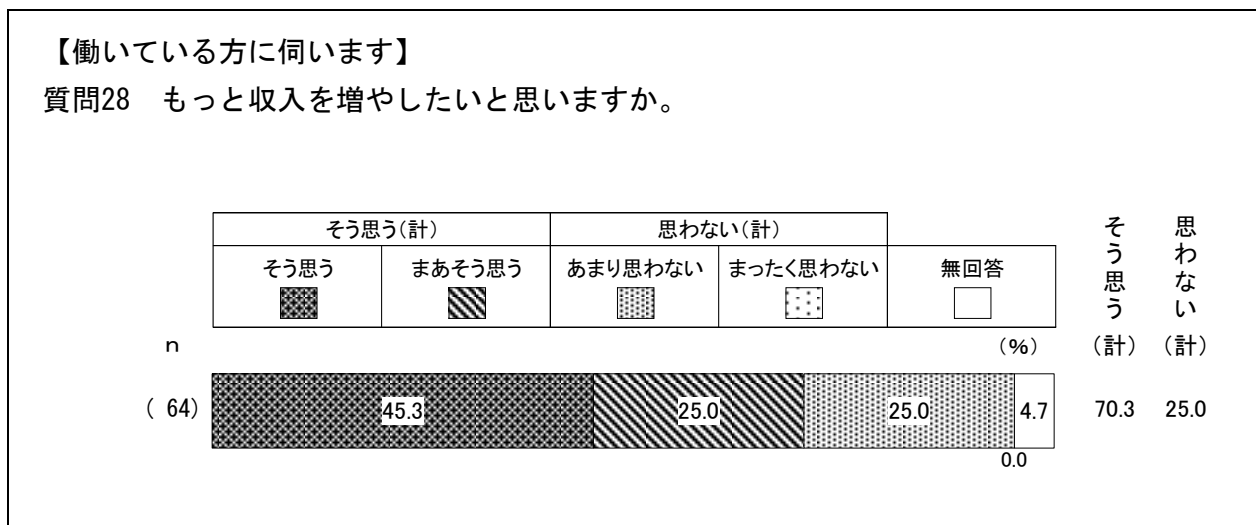
(12) 保護費の返還理由への納得



不正受給として保護費の返還を求められたことが「ある」と答えた方に、その理由に納得したか聞いたところ、「納得できた」が66.7%、「納得できない」は20.0%となっている。また、「わからない」は11.7%となっている。

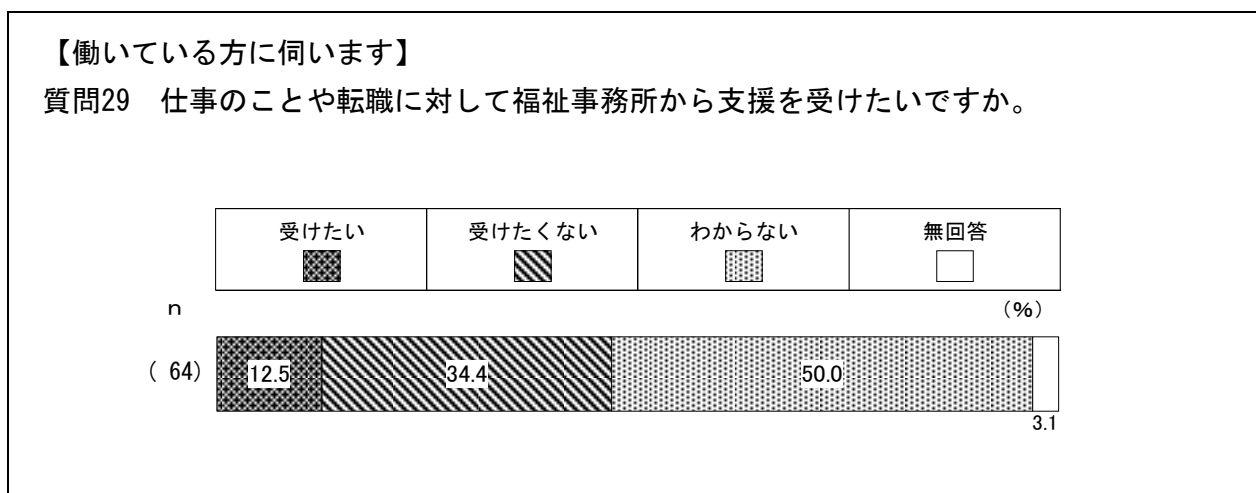
3 仕事について

(1) 収入



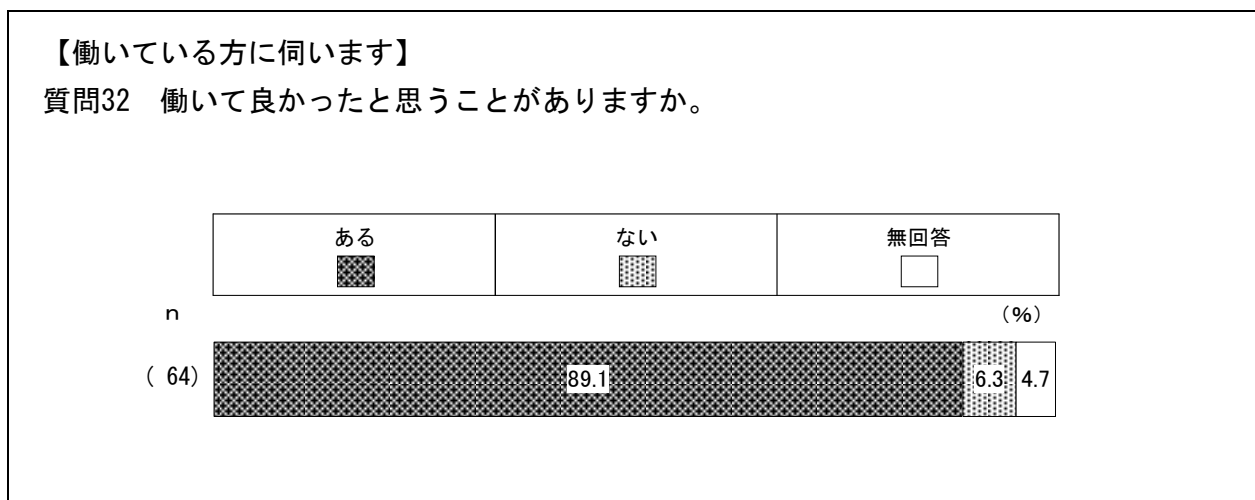
もっと収入を増やしたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(45.3%)と「まあそう思う」(25.0%)を合わせた『そう思う(計)』は70.3%となっている。一方、「あまり思わない」(25.0%)と「まったく思わない」(0.0%)を合わせた『思わない(計)』は25.0%となっている。

(2) 仕事のことや転職に対しての支援



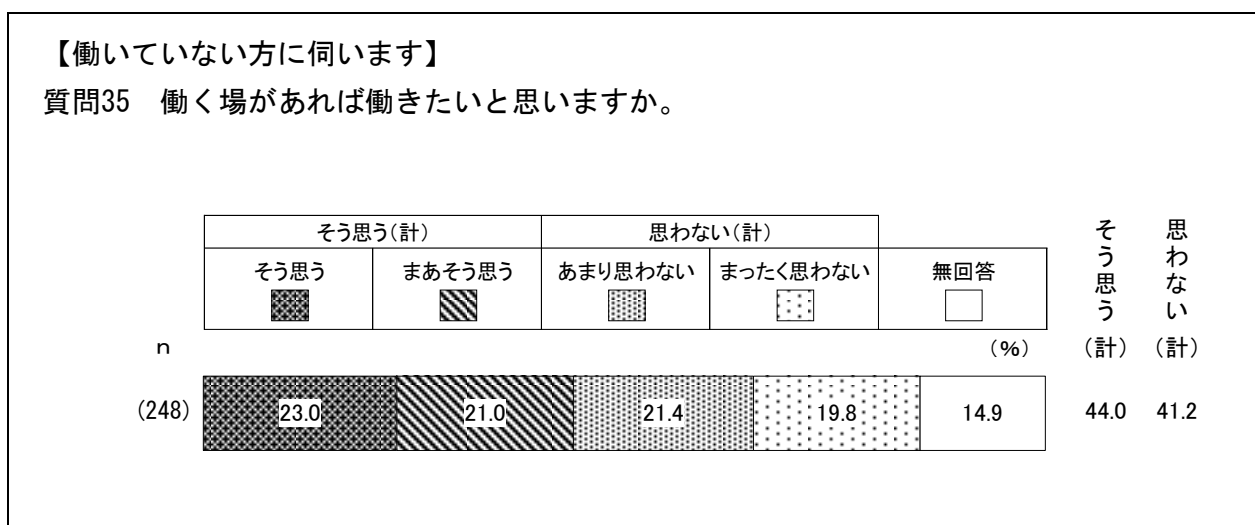
仕事のことや転職に対して福祉事務所から支援を受けたいか聞いたところ、「受けたい」が12.5%、「受けたくない」は34.4%となっている。また、「わからない」は50.0%となっている。

(3) 働いて良かったと思うこと



働いて良かったと思うことがあるか聞いたところ、「ある」が89.1%、「ない」は6.3%となっている。

(4) 労働意欲

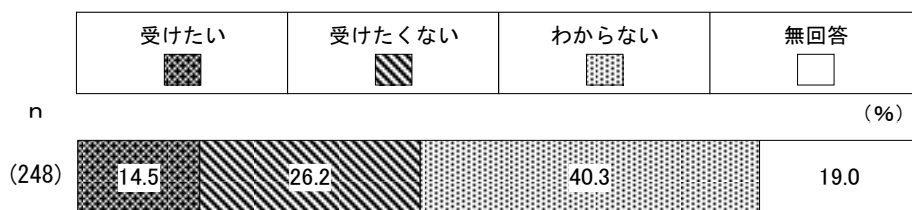


働く場があれば働きたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(23.0%)と「まあそう思う」(21.0%)を合わせた『そう思う(計)』は44.0%となっている。一方、「あまり思わない」(21.4%)と「まったく思わない」(19.8%)を合わせた『思わない(計)』は41.2%となっている。

(5) 仕事探しに対しての支援

【働いていない方に伺います】

質問36 仕事探しに対して福祉事務所から支援を受けたいですか。

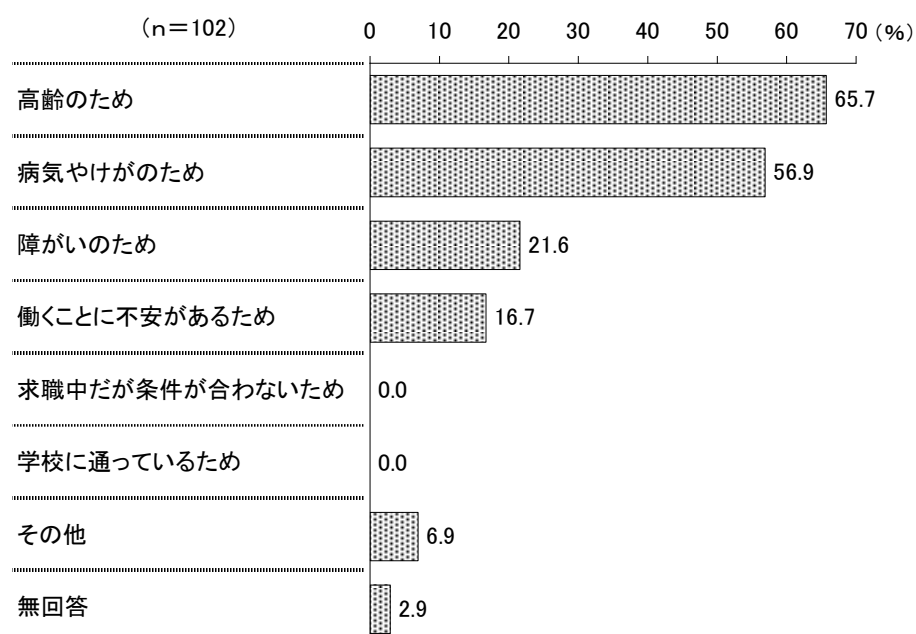


仕事探しに対して福祉事務所から支援を受けたいか聞いたところ、「受けたい」が14.5%、「受けたくない」は26.2%となっている。また、「わからない」は40.3%となっている。

(6) 働きたいと思わない理由

【働いていない方で、働きたいと思わない方（質問35で「あまり思わない」「まったく思わない」と答えた方）に伺います】

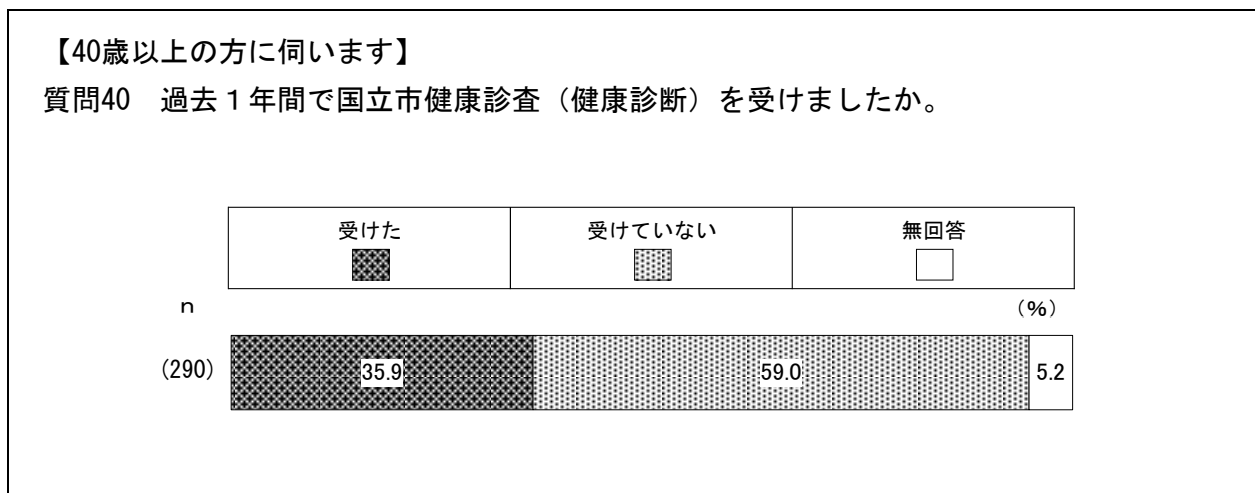
質問39 その理由は何ですか。（複数回答可）



「働きたいと思わない」と答えた方に、その理由を聞いたところ、「高齢のため」が65.7%で最も多く、次いで「病気やけがのため」(56.9%)、「障がいのため」(21.6%)、「働くことに不安があるため」(16.7%)となっている。

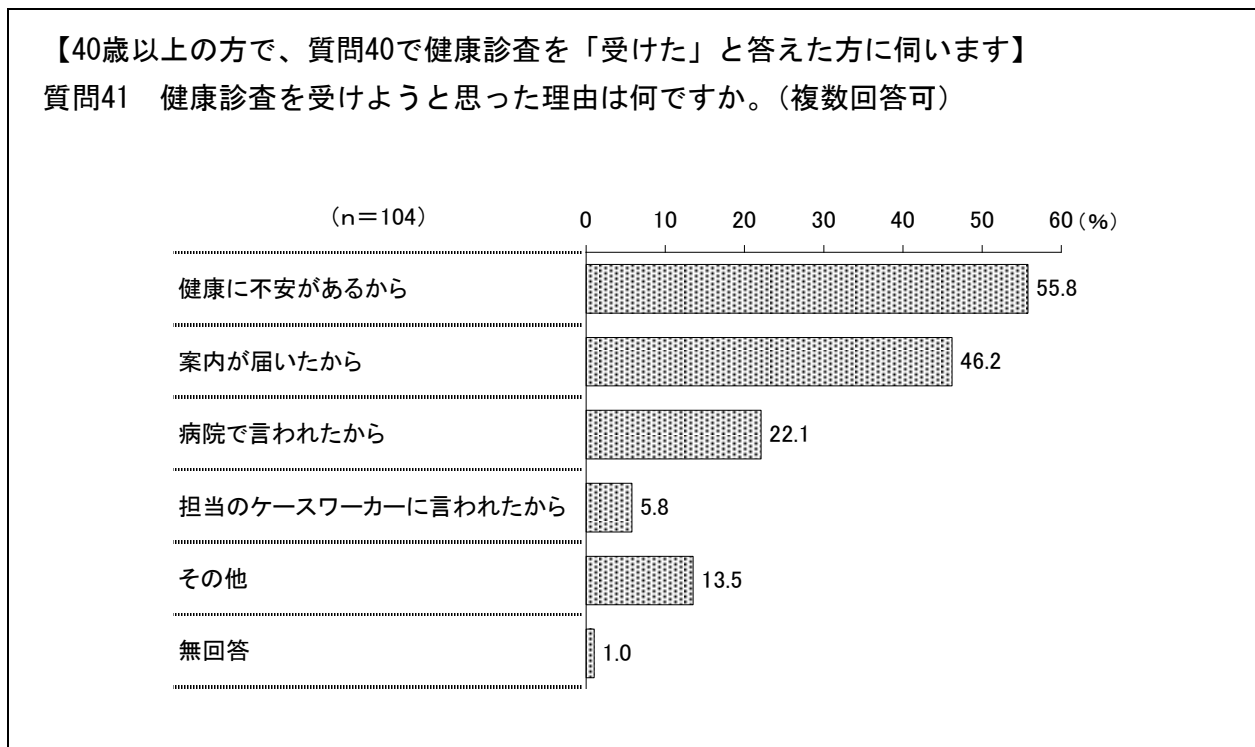
4 日常生活について

(1) 国立市健康診査（健康診断）



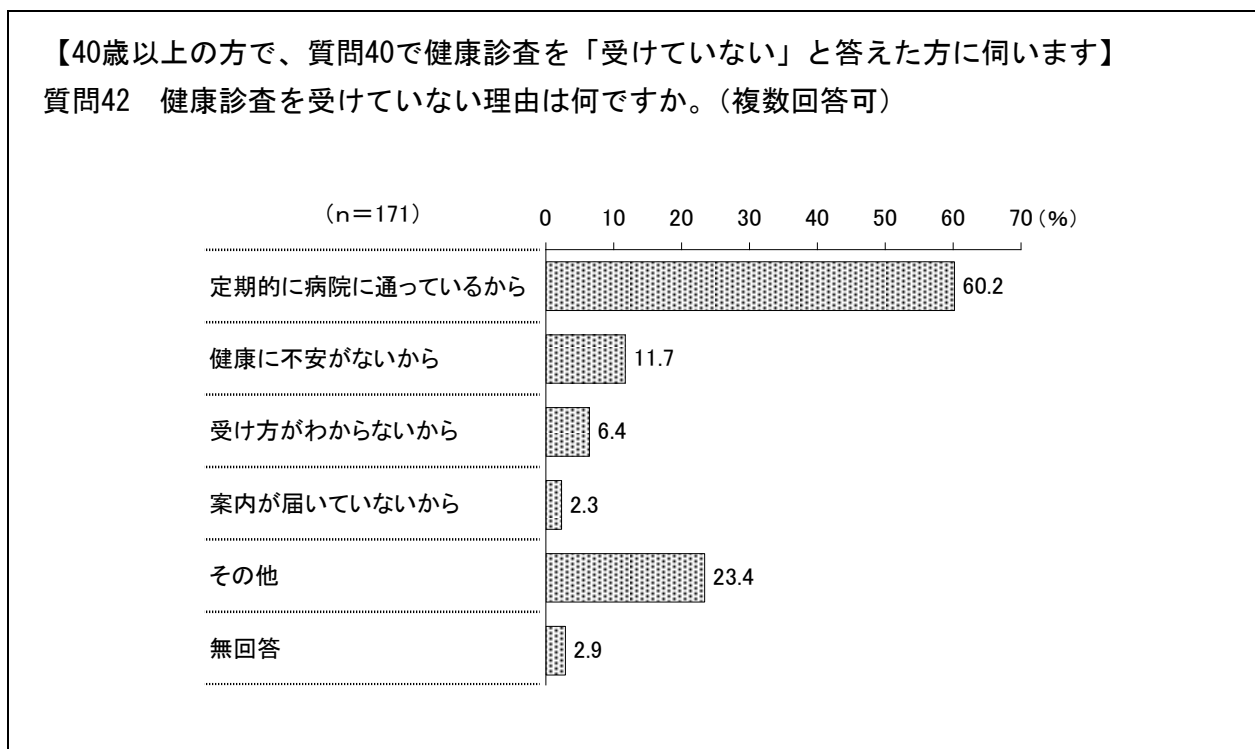
過去1年間で国立市健康診査（健康診断）を受けたか聞いたところ、「受けた」が35.9%、「受けていない」は59.0%となっている。

(2) 健康診査を受けようと思った理由



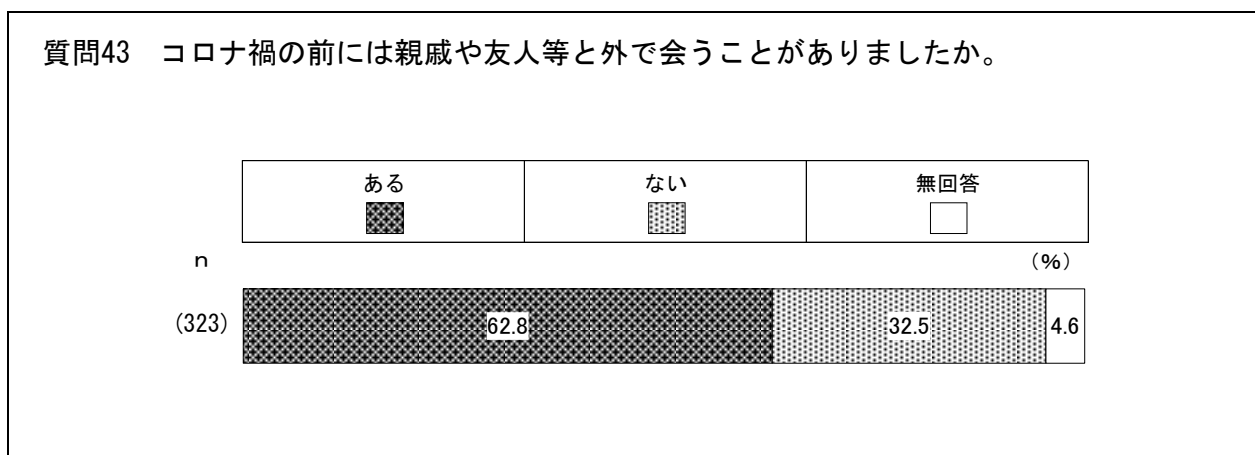
健康診査を「受けた」と答えた方に、健康診査を受けようと思った理由を聞いたところ、「健康に不安があるから」が55.8%で最も多く、次いで「案内が届いたから」（46.2%）、「病院で言われたから」（22.1%）、「担当のケースワーカーに言われたから」（5.8%）となっている。

(3) 健康診査を受けていない理由



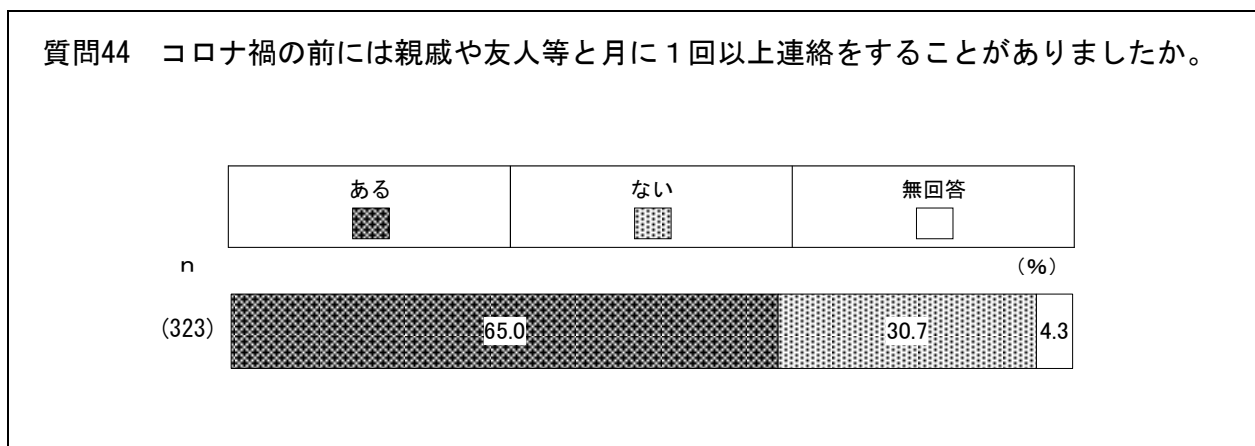
健康診査を「受けていない」と答えた方に、健康診査を受けていない理由を聞いたところ、「定期的に通っているから」が60.2%で最も多く、次いで「健康に不安がないから」(11.7%)、「受け方がわからないから」(6.4%)、「案内が届いていないから」(2.3%)となっている。

(4) 親戚や友人等と外で会う機会



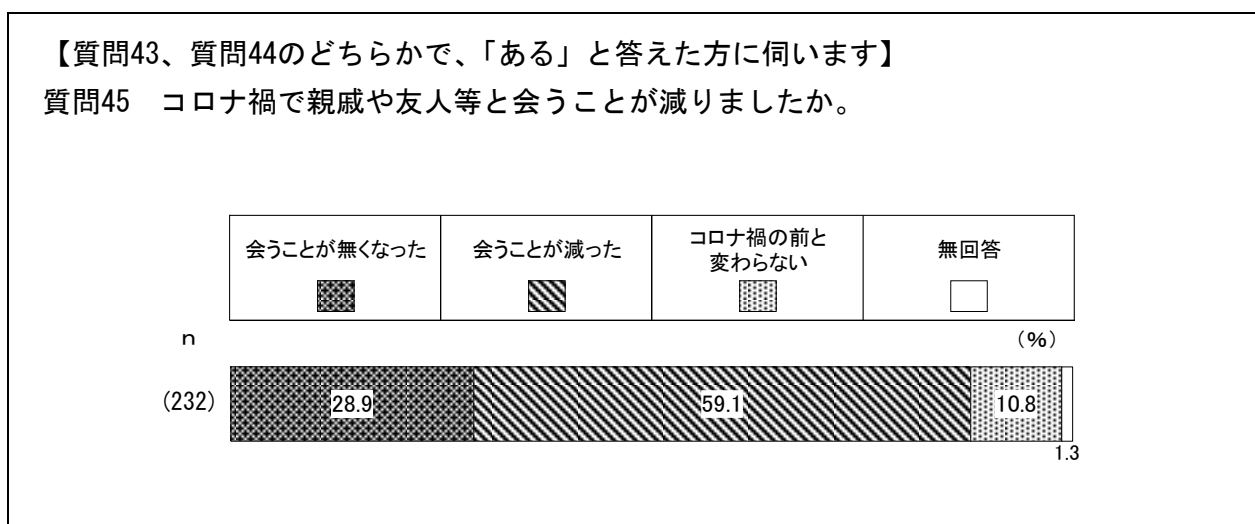
コロナ禍の前には親戚や友人等と外で会うことがあったか聞いたところ、「ある」が62.8%、「ない」は32.5%となっている。

(5) 親戚や友人等と月に1回以上連絡をする機会



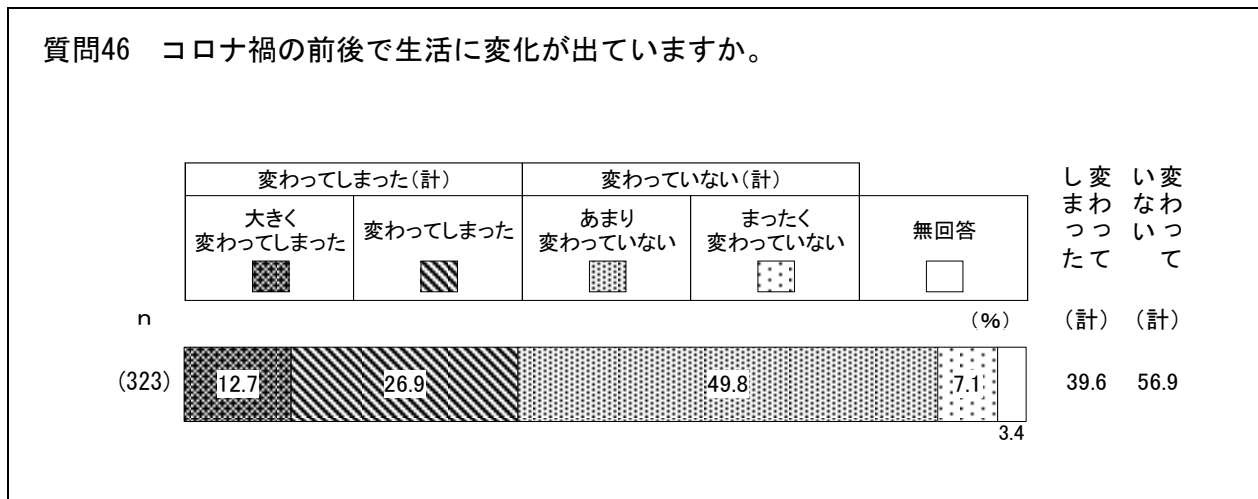
コロナ禍の前には親戚や友人等と月に1回以上連絡をすることがあったか聞いたところ、「ある」が65.0%、「ない」は30.7%となっている。

(6) 親戚や友人等と会う頻度の減少



コロナ禍の前には親戚や友人等と外で会うことや、月に1回以上連絡をすることが「ある」と答えた方に、コロナ禍で親戚や友人等と会うことが減ったか聞いたところ、「会うことが無くなった」が28.9%、「会うことが減った」は59.1%となっている。一方、「コロナ禍の前と変わらない」は10.8%となっている。

(7) コロナ禍前後での生活の変化



コロナ禍の前後で生活に変化が出ているか聞いたところ、「大きく変わってしまった」(12.7%)と「変わってしまった」(26.9%)を合わせた『変わってしまった(計)』は39.6%となっている。一方、「あまり変わっていない」(49.8%)と「まったく変わっていない」(7.1%)を合わせた『変わっていない(計)』は56.9%となっている。

5 自由意見

本調査で寄せられた意見の概要を紹介します。記述内容は原文を基本としていますが、固有名詞、個人情報等が含まれている場合や判読が難しい場合などは趣旨を損なわない範囲で削除、修正をしております。

(1) 生活保護を受けて、良かったこと、良くなかったこと

質問14 生活保護を受けて、どのようなことが「良かった」「良くなかった」ですか。回答数:191件	
記述内容	
1	病院に行ける
2	生活が苦しく、心身ともに働ける状態ではなかったため。
3	金銭的に困ることが無いので
4	生活が安定しました。(他10件)
5	コロナや家賃の安い所を探せなかったことです。コロナが落ち着かないと先には進めないことです。
6	働けなくなった時だったのでありがたかった。
7	生活の立て直しが何年もかかったができるようになった。ないままだと自殺してた
8	現在の年金額では家賃が払えないので助かる
9	病気になるって困っていた
10	生活が出来るようになりました。(他10件)
11	お母さんが困らないから
12	生活していける事、病院に行ける事
13	DVで逃げて来て心身共に傷を負い、努力しても安定できず困っていたが、この制度で生活がつながり、次の自活する気力へと活きている。
14	もう75才以上で働く所もないし、病気もあって働けない
15	長い人生、私にとっては残り少ない人生ですが(8●才)まだ希望を持って生活が出来ます。ありがとうございます。頑張ります!
16	財産がほぼないので良かったです。感謝しております。
17	病院へも行かせてもらい、食事もできて、住む所もあり、大変助かっています。
18	安心して持病の治療に向き合うことができるようになった。
19	医療費がかからないこと。(他4件)
20	家族に金銭面で助けてもらうことが出来なくて、働くことが出来ない状況の中で、生活保護を受けることが出来た事は、とても安心できた。生活保護を受けながら、今働いて収入を得る事が出来るようになった。仕事をいつまで続けることができるかはわからないけれど、これからも「働く」という気持ちを忘れずにいられたら良いと思っています。
21	年金が少ない、病気で入院代の支払い。通院代の支払いで、助かります。病気が回復したら、自分出来るだけ困っている人を助けたい!
22	助けてもらって良かった。感謝して居ります。
23	安心して生活できるようになりました。(他9件)
24	生活が少し楽になり、助かっております。
25	病院から激しい仕事や運動を止められているので、保護費を支給していただいて本当に助かっています。
26	自分では生活できないので、年も年だしバイトも出来ないで良かったです。
27	住居・食費・医療費の負担の心配がなくなったため。
28	生きていられて良かったです。
29	収入が安定した
30	貯金も0になっているので生活出来る
31	人生で色々な不都合があり、自分ではどうしようもない出来事が多くあり困難だったので。
32	不安を持たなくても生活が出来る、その中で生活すれば生きていける。
33	障害の治療に専念できていること。
34	生活費の心配がない
35	性格か病気か、人付き合いが苦手で仕事が長く続かず、破綻するところでした。
36	病気によつての受給ですが、前向きになれました。
37	生きていけるから
38	生活確保できます
39	生活の不安・心配がなくなりました。(他5件)
40	体のことで大変良かったです。
41	①病気や障害の為、働けなくなり、困窮を極めた頃、生保につながり助けられた。②団地に入居できたこと。(社会復帰)③お風呂が壊れた時「お風呂のない生活というのは？」と生保の方たちが親身になり考えて立派なシャワー付きのお風呂が備えられたこと。④医療費も助かっています。
42	父の入院費などカバーしていただいているから。
43	病気の為仕事が出来ない体なので助かります。
44	生活維持の為、病院代は感謝している。
45	精神疾患の持病をもっているため、体調には波があります。なので。

記述内容	
46	病気で保護のありがたさを感じた。
47	生活させて頂いており、とても感謝しております。ありがとうございます。
48	高齢のために働けなくなったので良かったです。
49	1人で自立して生活ができるから。
50	年が80才まで働いていましたが自転車でひっくり返って仕事が出来なくなりましたが生活保護が受けられて心配なく生活ができます事を心よりありがたく思っております。
51	最低限の生活だとしても安定して暮らせる。特に「現在のコロナ禍」感謝しています。
52	病気を持っているので受けてよかったです。
53	病院の医療費などで大変ありがたい
54	保護して頂いたので今の自分があると思っています。
55	毎月一定の収入を得られるため。
56	お金、生活費、病気で仕事ができない
57	生活保護を抜けないから。
58	病気で現在働けないので
59	生きてる感じがする
60	住むところ、生活できてありがたいです。
61	1.生活が出来る。2.友人に陰口を言われた。
62	家事などで精一杯の体調でも安心して暮らしているから。
63	生きていける。
64	本当に生活に困っていたので助かりました。
65	色々な条件（住む場所、信用できる頼れる人、相談機関、個人情報保護の手続きのしかた）など何から手を付ければいいかわからないボロボロだった私にひとつひとつ然るべき対応をしてくれて安心して療養できる環境を提供してもらってることにとっても感謝しています。だから良かったに丸つけました。
66	生活費と医療費をお世話になっている事です。いつも有りがたく思っています。
67	生活が楽になった。病院に通えた。
68	年金が少ないので良かったです。
69	自立できました
70	生活が出来て子供も学級へ通えて安心です。
71	精神疾患なのでフルタイム長時間働く事が出来ない為。
72	病気で働けないので生活に困っていたから。
73	働くことができないし家賃を払う事もできないので、助けてもらって良かったと思っています。
74	自分が病気のために仕事ができない時もあり、生活保護を受けて子供達を自立させる事ができました。
75	体調が悪い時は家にいることができるので、ありがたく思っております。
76	法での生きる権利は守られているが、福祉ではちゃんとできていない。国の管理が必要。
77	私は体の病気と心の病気があるので特に心の安心感があり大変良かったと今は思っています。（生活保護に抵抗感がありましたけどもっと早く相談していればよかったと思う）
78	経済的に困っていたから
79	自分の収入だけでは生きていけないから。
80	保護を受けず、何とかしようと思っていたが、電気・ガスも止まってしまい、担当（市役所）の方が手続きの話を進めてくれて、今思うとあの時が限界だったと思う。今は特別なことは出来ないが、生活する事に気を病むことが無く、穏やかに過ごせている。
81	返納金はあっても問題ありません。健康の為と最低の生活保障のある現状は精神的に安定しています。命と身体が動けば何かしら働いていたいと思います。現在のシルバー人材センターで●年目に入りました。有りがたい毎日です。
82	精神的に安定し、（アルコール依存からの回復）生活も安定し、生活の再建に向けてポジティブに考えることができています。
83	精神的に救われた感じ
84	現在、精神的な事で通院しており、通常に働くことが困難なため
85	世の中が狭くなる
86	夫がお金を入れてくれなかったので助かった
87	体調不良で休職していたため
88	生活がやっつけられるから
89	結婚して子供3人、生活がいつも苦しかった。離婚も若い時から別居状態でお金も入れてくれず、ずっと貧乏生活、子供達も大きくなったのですが、自分たちで精一杯。保護受けられなかったら生きる事さえできなかったと思います。1人で生活してますので感謝してます。
90	最低の生活ができるのと、病院通いが助かる。
91	寝たきりだから
92	無ければ生活が出来なかった。無ければ現在生きていないと思う
93	いろいろの面で特に病気があるため医療費が助かります。そのほかにも本当にありがたいと感謝です。
94	生活の中で安心感がある
95	毎月通院しているので医療費、生活費を受給することができ助かっていること
96	経済的に助かって居る。医院関係が大変救われて居る
97	明日のごはんの心配がなくなった
98	定期的に病院で検査をしているので、医療費がとても助かっています。世間の人は生活保護を受けている人の事を税金で生活していると冷たい目で見られる事が辛いと思う。私は生活保護を受けている事を誰にも話していない。皆様の税金のお陰様で生活をし、生きています。感謝して毎日を過ごしています。

記述内容	
99	生活が安定した。仕事につくことができた。
100	生活基盤を整えることができた。医療面で助けていただいている。
101	受けてなければ生きていけないと思う
102	受けられなかったら首を吊って死んでいたと思います。
103	生活面で多少は助かっている
104	寒い時、電気代が高いので、なるべく節約しています。
105	生活が安定してできること（昔の生活とはちがいますが）それでもお世話になる前のことを考えますと、ほんとに良かったと思い、助けていただいた事に心から感謝しております。
106	子供が小さく、仕事もまだ安定できないので良かった
107	自営業なので蓄えが無かったから…保護を手続き出来て生き延びてるのが現実です。
108	何事も親切で良かった。
109	受けていなかったら、今この世に私はいません。
110	信頼出来ること
111	母子家庭で心身の体調不良から働けてない状態にあるため生活が出来ることありがたいです。
112	精神的においつめられていて、本当にたすけられた。
113	年金だけでは生活できませんので助かります。しかし、一昨年に年金生活者支援給付金が出たに急に8万円を支払うように言われた時は驚きました。毎月1万円ずつ返還しましたが、厚生省にお返ししたかったです。全部市役所に持っていかれ、何の益なかった様に思いました。事前にそうなることを伝えてくだされば良かったのではないのでしょうか？
114	死なずにすんだ
115	生活が出来なくなった時にケースワーカーの方が本当に良くきいて下さって今でも忘れない。親切にして下さいました。
116	生活が安定して通院も出来てアルバイトながら仕事にもつけた事
117	精神的ストレスが減った
118	以前はお金の問題で思うように医者に行けなかったが、気になりながら行けなかった病院に行けるようになった
119	精神的に楽になった
120	困った時に適時に相談できる、いい意味で私を距離持て見守ってくれてること
121	取りあえず生活を維持出来る事
122	定期的にく保護費の支給が受けられること。いざという時にはく医療が受けられること。
123	受けていなければ死んでいたかもしれない。今は毎月10万前後だが収入申告している。もう6年と半年になる（就労して）。少しずつ生保から脱却できるようにと思いつけている。
124	受けていなければ明日も困る生活をしていたと思います。その点は良かったです。ただ毎回届く封筒にも「相談保護係」と書かれていたり、医療券のことで病院の事務の方に大声で言われてしまったりと、心理的につらく感じることもあります。
125	生活相談をするに関して、生活保護のせんたくが出来た事が自分の生活にはばを持たた。
126	年金での生活は難しいので、特に家賃と医療費は本当に助かります。
127	医療費の負担がなくなり心配事がなくなりました。
128	生活保護を受け収入のない一人暮らしに有りがたいと思います。医療、住居その他の2、3の経費の支払いの援助はとてうれしいですが、精神的に心が重く苦しい。
129	体を壊して収入が極端に減ってしまい、家族と疎遠のためもあり援助はしてもらえず。一定の保護費をもらえるためとても助かる。半面、一定以上の収入はないので家電が壊れたらどうすればよいかわからない。
130	受けなかったら…
131	①病気治療で働けない状態で治療費にもいきづまってしまうところだったので大変ありがたいです。早く良くなって働けるようになりたいです。②親族や知人から生活保護を卑下される日々がつらく早く働きたいです。
132	持病があるので助かります
133	生活の基本の部分で不安がないから
134	来年8●才です。仕事をしたくても使ってくれるところは有りません。ましてこのコロナの中では若い人の仕事ないようです。
135	体調を崩して働けなくて病院にかかることもできなくなっていたので、病院にかかることができ治療に専念する事ができているのでよかったです。
136	最低限の生活ってなんだ！
137	以前は子供の体調が悪くなり仕事を休むと、その分給料も減り、生活の不安定が悩みだった。
138	お金がある、と思うだけで安心できる。
139	病気治療を安心して行える
140	生活保護を受けていることに色目で見ないで下さい。
141	住宅費を保護費から自動的に引いてもらっているから。前は分割で払っていた。
142	生きて行くのに明るさを見え出すことが出来そうで。
143	毎日、明日はどうしようと、どうやって生活しよう、仕事はどうしようという日々の不安がなくなった事が良かったと思っています。
144	生活費が保障されているので安心できるため
145	今、生きていられるのは、生活保護をさせて頂けたので生きていられます。
146	病気になった事で経済的に助けられている。
147	年金が無く、8●才の一人暮らしとしては、僅かでも安定した生活費の保障は大変心強く感謝して居ります。
148	金銭的心配
149	アパートで生活できている。

記述内容	
150	シェルターを経て生活保護が始まった。この支援がなかったら本当に殺されてたか私が殺人を犯してたかもしれない。助けてもらったことに感謝します。だからと言って役所の中に私のような生き方をしてきた者を馬鹿にし、上から目線で言葉の端々で嫌味を言うてくる人がいて、弱い立場を自分でも分かっているのでも何も言わなかったけど、ひっぱたいてやりたい程ムカついている、
151	病院の先生がなぜ生活保護になったんですかと聞かれました。なぜ？
152	病気になり、入院して医療費は助かった。
153	精神的に安心して生きていられる。おかげさまで感謝しております。
154	働いていた時よりも収入が3割くらい増えた。痛み止めを飲まなくなった。無理に外出しなくてよくなった。
155	非常に困っていた時、生活していく助けになったから
156	母親の病気の心配、生活の不安がなくなり平常になった（心理など）
157	普通の生活が出来る様になって良かった
158	年金では家賃など支払えない、私が70才過ぎまで生きるとは思ってなく病気になった時、良い先生にめぐまれ助けて頂き、後役所の皆に手をかけて頂き今日まで生活できています。
159	年で仕事が出来なくなって体も悪くなってその他に色々相談にのってもらいました。
160	先の生活が不安だった（一人になって）
161	将来について絶望感情があったので生きる希望になった
162	生活が苦しかった為
163	体調が悪い時など我慢して働かなくて良い。人と関わらなくてすむので良い。
164	毎月生活保護費を受けてるから
165	会社勤めをしていましたが給料が安く、又、ボーナスは四年間ほど一切出ず、少しずつ貯めてはいましたが、会社が倒産し、退職金も出ず、手元の預金でなんとかしていましたが、底をついてしまい市役所に相談しました。
166	病院に行けるようになった。
167	保護を受ける事で（受けていなかったらと想像すると恐ろしく）夜も不安な夢を見なくなりました。受給者で有る事を周囲に知られるのが恐ろしいので、ひっそりと用心をして静かに暮らして行けたらと思います。
168	有難いと思います
169	ウソや基準の金額、決定通知書の計算が受け取る金額と違うことがある。そもそも国の決めてある前提の金額を渡されない。
170	病院代が出る事
171	医療費が助かっています、ありがた。諸々の出費
172	計画的に生活する事が出来ましたが、もう少し家賃ぐらいの支援をしてほしい。物価等も値上がりりがひどく、持病があり、それなりの食生活をしなければならないので。
173	困りごとを相談できた。
174	自分に医療費が大きくなかってくると思わなかったし、支援が受けられる範囲がわからなかった。安易に考えていた自分を後悔している。
175	杖についての仕事は無理だったから（パソコン出来ないから）不安がへった
176	体調が良くなかった時なので。
177	生きてる。保護されなければ死んでいた。
178	部屋代は高いがトイレ、風呂がついている事。
179	住む場所を失うことが無くなってよかった。
180	この生活保護がなかったら、どうやって生きていけるか分からなかった。
181	生活が安定した。精神的に病むことが少なくなった。人と接する機会が増えた。おかげで社会復帰もできた。
182	生活を助けてもらっている
183	生活が安定しているの、健康、学習、地域への活動（公営、集団住宅に居住している）等へ向う事が出来る。
184	体調の不調をごまかしながら、生計を立てることを優先順位のトップにして生きてきたが、保護を受けて人生初めて芯から休めたと感じた。休んでいる中で、他の健康な人との体力気力の明らかな差を人生初めて認識することができて、自分にとって妥当な（適切な）仕事の量について認識を改めることができた。
185	生活保護が一番最後の砦だと思います。その中で障害を持った人たちが様々な理由で失業したりした時に必ず市役所へ相談する時にいわれる言葉が、生活保護の申請を勧められますが、その前に障害年金の有無を聞いたりその申請をさせるべき。
186	生活が安定して、月末等になると、色々心配していましたが、それがなくなり決まった収入で生活出来る様になりました。
187	日常生活に支障をきたす状態なので保護がなければ生きて行けない。
188	良かったことは、生活や健康（医療にかかる）ことが守られている安心。良くないことは、生保からぬけることの難しさ。そのアドバイスなどの支援も必要だと感じます（自立のため）。
189	少しは人間らしい生活が出来るところ
190	助けていただいていると常に思っ受け取らせて頂いております。
191	まったく生活費が無い時や食料補助をしてもらった時は非常に助かりました。

(2) コロナ禍前後での具体的な生活の変化

質問47 コロナ禍の前後で生活にどのような変化が出ていますか。回答数:98件	
記述内容	
1	家から出なくなった
2	病院に行ける
3	外に出られない、会えない
4	子供や兄妹と会う事が減った。
5	気軽に友人に会えない。
6	マスクをしなないといけない。喘息があるのでつらい。
7	コロナ禍と関係があるのかわからないが、ちょうどその頃に体調を崩したため。
8	体が動けなくなった
9	コロナになって仕事をしなかったためです。コロナが終わらないとだめだからです。
10	精神科に行ってます
11	マスクしなきゃいけない、給食が黙食
12	家の中での生活がほとんどです。光熱費がかかっている。
13	外へ出られない事と抑止行動が多く、疲れやすく、やる気が出にくい(ストレス)。食費が増えた。
14	年齢の問題もありますが、まず仕事がない時は家に閉じこもり、テレビばかり観ての一日。勿論、外食禁止、人に会うことも禁止、周りの人も精神的に心のゆとりが無くなっている感じが致します。
15	お金(支給額内の金額では)が毎月カツカツになることが多くなった。少し生活に苦しさを感じる。
16	飲食店が早く終わってしまう
17	マスクをする時代だからこそ、従うべきで自分の身は自分で守れば道が開けるのではないのでしょうか。特に日本の国は文化が進まない。外国の国を見るべきであると思います。(スケールがせまい国)で有ると思う!
18	職場が閉店し、職をなくした。コロナ禍なので仕事がなかなか見つからず、収入がなくなってしまった。
19	外に出る機会が減り、散歩程度になってしまった。
20	気分的に当たり前のことが出来なくなり、行きたいときに行くことがあまり出来ない。
21	人と関わる機会が減り、外に出る時間が減り、健康状態が悪化したこと。
22	外に出るとコロナになりそうで怖い。急用以外出ないようにしている。コロナが怖いです。私もかかることはないよう気を付けます。
23	マスク代等の出費が多くなってしまった。除菌用等
24	収入が減った
25	コロナの為、様々な不安がある
26	マスクをつけないといけない
27	1. 仕事が不安定になりました。
28	コロナ予防のため。
29	物価が上がり、消費税が上がり、外へ出て歩けなくなり、不安から(コロナ)気持ちが沈む時がある。
30	コロナがうつるのか? 畑の所で会うのも少なくなった。
31	友人とのカラオケなくなった。
32	もし私のような底辺がコロナ感染しない様に周りの方々にご迷惑ならないように心がけて生活している。
33	保育園に行けなくなったり、収入が減ったりなど
34	以前は息抜きのためにたまに喫茶店や飲食店に行ったりしてましたがまったく行かなくなりました、人込みへの買物も行かなくなりました。
35	仕事がへった。
36	病気をして障がい者になっしまったことで働けないこと
37	品薄などあった時、一人暮らしでお店で並んで買ったりしたことです。マスクを買うお金がかかります。使ったマスクを洗ってとってあります。
38	休職になり、家に居ることがほとんどになった(現在は日数を減らして復職)
39	コロナ禍前は気楽に外出することが出来ていたが、コロナ禍になってからは外出してできる趣味も我慢するようになってしまった。1~2年ほど引きこもっていたように思う。ワクチンを2回打ってからは少しずつ少しずつ感染に気を付けながら外出というか外に出てみようかなという気持ちが湧いてきて、将来の夢も決まり、療養のステップも1段階あげたりして就労に向けてゆっくり準備をしはじめた。
40	集まれなくなった。人間関係が切れた。
41	やはりうつしてもうつされても嫌なのでどうしても子供や友人と会う機会が減ってしまいました。
42	友人は電車に乗らないと会えないので、近くには友人いない為。
43	親族と会えなくなった。外出しなくなった。
44	出かけることが無くなった。物価は上がり、保護費は減り、支払いの後手元に残る金もなく、文化的な生活もほど遠くなった。孤独感、むなしさなどもコロナになって大きくなった。
45	行きたい場所に思うように行けなくなった
46	いつも友達と連絡し合っていたけれどコロナで会う事が一度もなくなり電話だけになった事が淋しく思う。一人生活なのでだんだんボケていくのではないかと心配してます。外に出るのが少なくなり、足腰が弱くなったような気がします。
47	足が痛く、外に出たくない。ひとりでいたいと思うようになった。
48	運動ができないので毎日散歩と思いますが、ままならない。買物も人が少ない時間に行ったり、体力がだんだん弱くなり、去年と比べると別人のようです。

記述内容	
49	正座が出来なくなったり、足にも来てます、目にも。
50	両親のお墓参りに2年も行っていない。田舎に住んでいる弟にも逢う事もない、電話で近況報告をする事くらいです。
51	コロナ禍の中、仕事を見つけることができた。仕事の収入だけで生活するのは出来ないが、生活のリズムが変わった。
52	人に会わなくなったことで孤独になった。外に出なくなったことで体力気力が無くなった。
53	体調がわるい
54	行く店がなくなった
55	マスクをするようになった
56	精神的に追い詰められる事が増えたにもかかわらず、少しでも良いから助けて欲しいと言う事も聞き入れてもらえなかった。(精神的な事で)
57	数少ない仕事があったが無くなった。
58	外出をあまりしなくなった。家出の時間が増えて家族と過ごす時間が多くなり良かったと思う。
59	独りであることが多くなった。ネットで時間をつぶすことが多くなった。
60	家族関係の変化、悪化が顕著になった
61	友人知人とほとんどTEL以外でしか話せず、独身のためやはり孤独感を感じる事が多い。年齢的なものもあり、いつ死ぬかわからないので不安感を持っています。しかし政府の指示ですので自制したり忍耐しています。
62	いつも大変ですの？
63	職場に迷惑をかけない様に外出(買い物含む)を極力減らしています。通勤は混雑をなるべく避ける様にしています。
64	仕事が出来ようになったこと
65	コロナ感染が怖くて
66	家に居ることが多くなり、電気代等がかかる為、生活がコロナ前より苦しい。
67	必要なものをそろえるのにお金がかかる。商品が高くなった。
68	長い<巣ごもり生活>のため—運動不足や睡眠のみだれ<心と体>のバランスがとりにくい。
69	すべて
70	仕事が無くなりました。体が病気になりました。
71	失業し、脳梗塞で倒れ、仕事ができなくなった。
72	運動量が減った。
73	コロナにうつることがとても恐いので歩く事が減りました。外出は診察に月二箇所、買物を近くでという程度です。
74	通院時の不安や通院予約枠の減少により通院しにくくなった。別居家族(主に子供)と会えない不安。
75	外でコミニケを取る事がいろんな規制がある為、積極的になれない。家の中で過ごすことが多く足が悪くなったり運動量が少ないため筋肉が減り、コロナ禍の中で整形外科にかかるようになった。
76	人と会うのを考えるようになった。できる限り混雑しない時間に買い物に行くようになった。
77	コロナ禍で仕事も住まいも失いました。会社が倒産しました。新しい仕事も始めましたが、家賃を払ったら食べてはいけません。
78	通院時にタクシー利用をしたり、買い物(日用品)をネットに頼ることが増えてしまった。
79	妹が来ててもすぐ帰ってしまう。
80	仕事がなくなり保護をうける様になった。病気にもなっている。
81	今まで健康に自信を持っていたので気を使う様になったことは大変なことですね。
82	生活保護を受給できるようになった事
83	コロナうつのような状態になった。人となかなか会えなくなった。自分のしたい事が感染の不安からできず、行動範囲が減った。
84	持病で免疫を下げ続けるお薬を使っているので外には全く出ないです。
85	人の出入りが少なくなってしまった。家の廻りが静かになっている。
86	出不精になった。娘、孫との交流を全くしない。親せき、友人共スマホのメールのみ。自分の衣類に無関心になった。
87	散歩しなくなった
88	買物にあまり出なくなった。2~3日分買って来る
89	重い病気のため2人とも注意とても神経質になっています。日常生活、とくに疲れている状態です。
90	趣味のグループ等が休会になり、家で閉じこもりになって、憂うつな気分になった。友人達と外で会うことがなくなった。結果、膝や腰が痛くなって体調が悪くなった。
91	電車やバスを使うのが怖いから、買物は近所のスーパーしか行けなくなった
92	うつりたくなかったから
93	生活保護受給や自己破産したり、それを友人には言いづらくなり、連絡を取りづらくなった。
94	病院に通うことができなくなった。コロナの不安と体調が悪くなるが増えたので。
95	どこでコロナ禍になってしまうのが怖いから
96	実家の両親が高齢の為、よく帰って彼らの体調がみたくて、顔色や様子を見に行っていたが、自分が都内からコロナを運ぶかもということで極力電話で済ますようになった。それによって実家の方に居る友人と直接会うことが減った。(各県をまたぐ移動制限が出た、ということもある)
97	他人と関りが持てなくなった。他人と話をするのが恐くなった。実際、他人と話したり(立ち話等)や人込みに出掛けると、とても疲れてしまう様になった。マスクが無いと外出も出来ない。
98	常にマスク着用が気掛かりになった。世間全体に閉塞

Ⅲ アンケートの概要

1 使用した送付状及び調査票

～生活保護利用者アンケートのお願い～

平素より国立市政にご理解・ご協力賜り誠にありがとうございます。

この度、国立市のより良い生活保護行政の運営及び利用者支援のあり方について検討するため、利用者アンケートを実施することにいたしました。

本アンケートは立正大学(社会福祉学部 池谷秀登教授)と共同で集計・分析を行い、利用者の皆様の支援に生かしていきたいと考えております。

アンケートは無記名方式となっておりますので、誰が書いたものなのか、福祉事務所・ケースワーカー・共同研究者にはわかりません。利用者の皆様の感じていることを記入いただければ幸いです。

*本アンケート実施に当たり、新たに利用者の皆様の個人情報収集いたしません。

*既に国立市福祉事務所で保有している利用者の皆様の個人情報については国立市のみで保有・管理し共同研究者には提供いたしません。

*本アンケートの集計・分析結果は上記共同研究の結果として公表いたしますが、個人が特定されることはありません。

*このアンケートの回答内容や回答をしないことにより皆様が不利益を受けることはありません。

令和3年12月17日
国立市福祉事務局長
大川 潤一

1. 調査は無記名です。
2. ご本人が記入できない場合、ご家族の方などの代筆で構いません。
3. ご不明な点は【国立市健康福祉部福祉総務課相談保護係 042-576-2120】までお問い合わせください。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒(切手不要です)に入れ、

令和4(2022)年1月14日(金)までに郵便ポストへご投函ください。

ほん こじん とくてい
*本アンケートで個人が特定されることはありません。

かいとうないよう かいとう う む ふりえき しょう みな そつちよく いけん き
*回答内容や回答の有無で不利益が生じることはありません。皆さまの率直なご意見をお聞
かせください。

きにゅうほうほう
(記入方法)

ねん だい 年 代 (F1)	1. 15~18歳 2. 19~39歳 3. 40~64歳 4. 65~74歳 5. 75歳以上
----------------------	--

しつもん はなし き
質問2 ケースワーカーにもっと話を聞いてもらいたい。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない
--

もっと あ おも せんたくし ねが
最も当てはまると思う選択肢1つに○をお願いします。

また、いくつか記述をお願いする設問があります。具体的な例や理由の記載をお願いします。

じしん うかが
・あなたご自身のことについてお伺いします

ねん だい 年 代 (F1)	1. 15~18歳 2. 19~39歳 3. 40~64歳 4. 65~74歳 5. 75歳以上
せ たい 世 帯 (F2)	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし 3. 2世代(親と子) 4. 3世代(親と子と孫) 5. その他()
し ごと 仕 事 (F3)	1. 正規・契約社員 2. 派遣・アルバイト・パート 3. 自営業(内職者含む) 4. 無職(求職活動中) 5. 無職
びょう いん 病 院 (F4)	1. 定期的に病院へ行っている 2. 体調は悪いが、病院には行っていない 3. 病院には行っていない
せい かつ 生 活 (F5)	1. 家事や日常の活動はできている 2. 体の具合が悪くて家事や日常の活動ができていない 3. 心理的な問題で家事や日常の活動ができていない

・ 国立市福祉事務所とケースワーカーのことについてお伺いします

質問1 国立市の福祉事務所や担当のケースワーカーへ困りごとや不安を感じたときに相談できる（相談がしやすい）と思いますか。

- 1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問2 ケースワーカーにもっと話を聞いてもらいたいと思いますか。

- 1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問3 ケースワーカーの説明はわかりやすいと思いますか。

- 1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問4 ケースワーカーと話をするときには緊張することがありますか。

- 1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問5 ケースワーカーには家庭訪問に来てもらいたいと思いますか。

- 1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問6 国立市福祉事務所の窓口は行きやすいと思いますか。

- 1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問7 ケースワーカーが1～2年で交代するのは嫌だ（困る）と思いますか。

- 1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問8 ケースワーカーとの関わりで印象に残っていることがありますか。

- 1. ある 2. ない

質問9 質問8で「1.ある」と答えた方に伺います。

どのようなことが印象に残っていますか。

Empty box for answer to question 9.

質問10 福祉事務所から届く郵便（福祉だより、保護決定通知）は読むように
していますか。

1. 毎回読む 2. ほとんど読む 3. ときどき読む 4. まったく読まない

質問11 福祉だよりはわかりやすいと思いますか。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問12 保護変更決定通知はわかりやすいと思いますか。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

・生活保護についてお伺いします

質問13 生活保護を受けて良かったですか。

1. 良かった 2. 良くなかった 3. どちらともいえない

質問14 質問13で「1. 良かった」「2. 良くなかった」と答えた方に伺います。
どのようなことが「良かった」「良くなかった」ですか。

質問15 保護のしおりを持っていますか。

1. 持っている 2. もらっていない
3. もらったが失くしてしまった 4. わからない

質問16 質問15で保護のしおりを「1. 持っている」と答えた方に伺います。
保護のしおりは読みましたか。

1. 読んだ 2. 読んでいない 3. 読んだか覚えていない

質問17 質問16で保護のしおりを「1. 読んだ」と答えた方に伺います。
保護のしおりはわかりやすいですか。

1. 分かりやすい 2. まあ分かりやすい 3. 分かりにくい

質問18 生活保護のことでわからない（知りたい）ことがありますか。

- 1.ある 2.ない

質問19 収入申告について説明を受けたことがありますか。

- 1.ある 2.ない 3.わからない

質問20 質問19で「1.ある」と答えた方に伺います。
収入申告の義務について理解できましたか。

- 1.よく理解できた 2.少し理解できた
3.あまり理解できなかった 4.まったく理解できなかった

質問21 保護費以外に入金（収入）があれば必ず福祉事務所へ申告を行うようにしていますか。

- 1.している 2.していないこともある

質問22 質問21で「2.していないこともある」と答えた方に伺います。
申告をしていないこともあるのはなぜですか。

質問23 どのようなことが不正受給となるか説明を受けましたか。

- 1.受けた 2.受けていない 3.わからない

質問24 質問23で「1.受けた」と答えた方に伺います。
どのような場合に不正受給になるか理解できましたか。

- 1.よく理解できた 2.少し理解できた
3.あまり理解できなかった 4.まったく理解できなかった

質問25 今までに不正受給として保護費の返還を求められたことがありますか。

- 1.ある 2.ない

質問26 質問25で「1.ある」と答えた方に伺います。その理由に納得しましたか。

- 1.納得できた 2.納得できない 3.わからない

質問27 その他、不正受給についてご意見があればお書きください。

・お仕事について伺います

働いている方に伺います ※働いていない方は質問35へ進んでください。

質問28 もっと収入を増やしたいと思いますか。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問29 仕事のことや転職に対して福祉事務所から支援を受けたいですか。

1. 受けたい 2. 受けたくない 3. わからない

質問30 質問29で「1.受けたい」と答えた方に伺います。

どのような支援を受けたいですか。

質問31 質問29で「2.受けたくない」と答えた方に伺います。

なぜ支援を受けたくないのですか。

質問32 働いて良かったと思うことがありますか。

1. ある 2. ない

質問33 質問32で「1.ある」と答えた方に伺います。

どのようなことが良かったですか。

質問34

質問32で「2.ない」と答えた方に伺います。

どのようなことが良くなかったですか。

はたら

かた うかが

働いていない方に伺います

※働いている方は質問40へ進んでください。

質問35

働く場があれば働きたいと思いませんか。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない

質問36

仕事探しに対して福祉事務所から支援を受けたいですか。

1. 受けたい 2. 受けたくない 3. わからない

質問37

質問36で「1.受けたい」と答えた方に伺います。

どのような支援を受けたいですか。

質問38

質問36で「2.受けたくない」と答えた方に伺います。

なぜ支援を受けたくないのですか。

質問39

働きたいと思わない方(質問35で「3.あまり思わない」「4.まったく思わない」と答えた方)に伺います。

その理由は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 求職中だが条件が合わないため | 2. 病気やけがのため |
| 3. 障がいのため | 4. 高齢のため |
| 5. 学校に通っているため | 6. 働くことに不安があるため |
| 7. その他 () | |

・日常生活についてお伺いします

さいいじょう かた うかが
40歳以上の方にお伺いします。

さいみまん かた しつもん すす
※40歳未満の方は質問43へ進んでください。

しつもん か こ ねんかん く にたちしけんこうしんさ けんこうしんだん う
質問40 過去1年間で国立市健康診査（健康診断）を受けましたか。

1. 受けた 2. 受けていない

しつもん しつもん けんこうしんさ う こた かた うかが
質問41 質問40で健康診査を「1.受けた」と答えた方に伺います。
けんこうしんさ う おも りゆう なん ふくすうかいとうか
健康診査を受けようと思った理由は何ですか。（複数回答可）

1. 健康に不安があるから 2. 案内が届いたから
3. 病院で言われたから 4. 担当のケースワーカーに言われたから
5. その他（ ）

しつもん しつもん けんこうしんさ う こた かた うかが
質問42 質問40で健康診査を「2.受けていない」と答えた方に伺います。
けんこうしんさ う りゆう なん ふくすうかいとうか
健康診査を受けていない理由は何ですか。（複数回答可）

1. 健康に不安がないから 2. 案内が届いていないから
3. 定期的に病院に通っているから 4. 受け方がわからないから
5. その他（ ）

しつもん か まえ しんせき ゆうじんなど そと あ
質問43 コロナ禍の前には親戚や友人等と外で会うことができましたか。

1. ある 2. ない

しつもん か まえ しんせき ゆうじんなど つき かいじょうれんらく
質問44 コロナ禍の前には親戚や友人等と月に1回以上連絡をすることがありまし
たか。

1. ある 2. ない

しつもん しつもん しつもん こた かた うかが
質問45 質問43、質問44のどちらかで、「1.ある」と答えた方に伺います。
か しんせき ゆうじんなど あ へ
コロナ禍で親戚や友人等と会うことが減りましたか。

1. 会うことが無くなった
2. 会うことが減った
3. コロナ禍の前と変わらない

質問46 コロナ禍の前後で生活に変化が出ていますか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1.大きく変わってしまった | 2.変わってしまった |
| 3.あまり変わっていない | 4.まったく変わっていない |

質問47 質問46で「1.大きく変わってしまった」「2.変わってしまった」と答えた方に伺います。

それはどのようなことですか。

質問48 その他、国立市福祉事務所や生活保護についてご意見があればご記入ください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート票を同封の返信用封筒に入れ、令和4年1月14日（金）までにポストへ投函をお願いいたします。（切手は不要です）

2 集計結果（単純集計結果）

1. あなたご自身のことについて

上段：件数
下段：%

年代（F1）

全 体	15 ～ 18 歳	19 ～ 23 歳	24 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 歳 以上	無 回 答
323 100.0	4 1.2	19 5.9	120 37.2	71 22.0	99 30.7	10 3.1	

世帯（F2）

全 体	1 人 暮 ら し	夫 婦 2 人 暮 ら し	2 世 代 （ 親 と 子 ）	3 世 代 （ 親 と 子 と 孫 ）	そ の 他	無 回 答
323 100.0	226 70.0	45 13.9	40 12.4	2 0.6	3 0.9	7 2.2

仕事（F3）

全 体	正 規 ・ 契 約 社 員	パ ー ト ・ 派 遣 ・ ア ル バ イ ト ・	自 営 業 （ 内 職 者 含 む ）	無 職 （ 求 職 活 動 中 ）	無 職	無 回 答
323 100.0	6 1.9	54 16.7	4 1.2	18 5.6	230 71.2	11 3.4

病院（F4）

全 体	い る 定 期 的 に 病 院 へ 行 っ て	体 調 は 悪 い が 、 病 院 に は 行 っ て い な い	病 院 に は 行 っ て い な い	無 回 答
323 100.0	269 83.3	13 4.0	30 9.3	11 3.4

生活（F5）

上段：件数
下段：%

全 体	家事や日常の活動はできている	家事や日常の活動はできない	体の具合が悪くて家事や日常の活動ができていない	心理的な問題で家事や日常の活動ができていない	無回答
	323 100.0	251 77.7	49 15.2	25 7.7	11 3.4

2. 国立市福祉事務所とケースワーカーのことについて

質問1 国立市の福祉事務所や担当のケースワーカーへ困りごとや不安を感じたときに相談できる（相談がしやすい）と思いますか。

全 体	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答	
	323 100.0	130 40.2	106 32.8	52 16.1	21 6.5	14 4.3

質問2 ケースワーカーにもっと話を聞いてもらいたいと思いますか。

全 体	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答	
	323 100.0	58 18.0	96 29.7	134 41.5	21 6.5	14 4.3

質問3 ケースワーカーの説明はわかりやすいと思いますか。

全 体	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答	
	323 100.0	131 40.6	123 38.1	41 12.7	14 4.3	14 4.3

質問4 ケースワーカーと話をするときには緊張することがありますか。

上段：件数
下段：%

全 体	そう 思う	まあ そう 思う	あ まり 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	無 回 答
323 100.0	52 16.1	84 26.0	120 37.2	52 16.1	15 4.6

質問5 ケースワーカーには家庭訪問に来てもらいたいと思いますか。

全 体	そう 思う	まあ そう 思う	あ まり 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	無 回 答
323 100.0	31 9.6	50 15.5	168 52.0	57 17.6	17 5.3

質問6 国立市福祉事務所の窓口は行きやすいと思いますか。

全 体	そう 思う	まあ そう 思う	あ まり 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	無 回 答
323 100.0	100 31.0	113 35.0	66 20.4	28 8.7	16 5.0

質問7 ケースワーカーが1～2年で交代するのは嫌だ（困る）と思いますか。

全 体	そう 思う	まあ そう 思う	あ まり 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	無 回 答
323 100.0	100 31.0	95 29.4	89 27.6	23 7.1	16 5.0

質問8 ケースワーカーとの関わりで印象に残っていることがありますか。

上段：件数
下段：%

全 体	あ る	な い	無 回 答
323 100.0	117 36.2	185 57.3	21 6.5

質問10 福祉事務所から届く郵便（福祉だより、保護決定通知）は読むようにしていますか。

全 体	毎 回 読 む	ほ と ん ど 読 む	と き ど き 読 む	ま っ た く 読 ま な い	無 回 答
323 100.0	210 65.0	53 16.4	39 12.1	11 3.4	10 3.1

質問11 福祉だよりはわかりやすいと思いますか。

全 体	そ う 思 う	ま あ そ う 思 う	あ ま り 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	無 回 答
323 100.0	94 29.1	144 44.6	54 16.7	12 3.7	19 5.9

質問12 保護変更決定通知はわかりやすいと思いますか。

全 体	そ う 思 う	ま あ そ う 思 う	あ ま り 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	無 回 答
323 100.0	76 23.5	118 36.5	95 29.4	25 7.7	9 2.8

3. 生活保護について

上段：件数
下段：%

質問13 生活保護を受けて良かったですか。

全 体	良 か っ た	良 く な か っ た	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
323	253	7	57	6
100.0	78.3	2.2	17.6	1.9

質問15 保護のしおりを持っていますか。

全 体	持 っ て い る	も ら っ て い な い	ま っ た も ら っ た が 失 く し て し ま い	わ か ら な い	無 回 答
323	158	34	49	74	8
100.0	48.9	10.5	15.2	22.9	2.5

質問16 質問15で保護のしおりを「1. 持っている」と答えた方に伺います。
保護のしおりは読みましたか。

全 体	読 ん だ	読 ん で い な い	読 ん だ か 覚 え て い な い
158	136	6	16
100.0	86.1	3.8	10.1

質問17 質問16で保護のしおりを「1. 読んだ」と答えた方に伺います。
保護のしおりはわかりやすいですか。

全 体	分 か り や す い	ま あ 分 か り や す い	分 か り に く い	無 回 答
136	54	77	4	1
100.0	39.7	56.6	2.9	0.7

質問18 生活保護のことでわからない（知りたい）ことがありますか。

上段：件数
下段：%

全 体	あ る	な い	無 回 答
323 100.0	101 31.3	198 61.3	24 7.4

質問19 収入申告について説明を受けたことがありますか。

全 体	あ る	な い	わ か ら な い	無 回 答
323 100.0	222 68.7	55 17.0	33 10.2	13 4.0

質問20 質問19で「1. ある」と答えた方に伺います。
収入申告の義務について理解できましたか。

全 体	よ く 理 解 で き た	少 し 理 解 で き た	た あ ま り 理 解 で き な か つ	ま つ た く 理 解 で き な か つ	無 回 答
222 100.0	157 70.7	48 21.6	11 5.0	3 1.4	3 1.4

質問21 保護費以外に入金（収入）があれば必ず福祉事務所へ申告を行うようにしていますか。

全 体	し て い る	し て い な い こ と も あ る	無 回 答
323 100.0	283 87.6	13 4.0	27 8.4

質問23 どのようなことが不正受給となるか説明を受けましたか。

上段：件数
下段：%

全体	受けた	受けていない	わからない	無回答
323 100.0	181 56.0	55 17.0	67 20.7	20 6.2

質問24 質問23で「1. 受けた」と答えた方に伺います。
どのような場合に不正受給になるか理解できましたか。

全体	よく理解できた	少し理解できた	あまり理解できなかった	まったく理解できなかった	無回答
181 100.0	133 73.5	35 19.3	7 3.9	2 1.1	4 2.2

質問25 今までに不正受給として保護費の返還を求められたことがありますか。

全体	ある	ない	無回答
323 100.0	60 18.6	248 76.8	15 4.6

質問26 質問25で「1. ある」と答えた方に伺います。
その理由に納得しましたか。

全体	納得できた	納得できない	わからない	無回答
60 100.0	40 66.7	12 20.0	7 11.7	1 1.7

4. お仕事について

上段：件数
下段：%

働いている方に伺います。

質問28 もっと収入を増やしたいと思いますか。

全 体	そう 思う	まあ そう 思う	あ まり 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	無 回 答
64	29	16	16	-	3
100.0	45.3	25.0	25.0	-	4.7

働いている方に伺います。

質問29 仕事のことや転職に対して福祉事務所から支援を受けたいですか。

全 体	受 け た い	受 け た く な い	わ か ら な い	無 回 答
64	8	22	32	2
100.0	12.5	34.4	50.0	3.1

働いている方に伺います。

質問32 働いて良かったと思うことがありますか。

全 体	あ る	な い	無 回 答
64	57	4	3
100.0	89.1	6.3	4.7

働いていない方に伺います。

質問35 働く場があれば働きたいと思いませんか。

全 体	そう 思う	ま あ そ う 思 う	あ ま り 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	無 回 答
248	57	52	53	49	37
100.0	23.0	21.0	21.4	19.8	14.9

働いていない方に伺います。

質問36 仕事探しに対して福祉事務所から支援を受けたいですか。

上段：件数

下段：%

全 体	受 け たい	受 け た く な い	わ か ら な い	無 回 答
248	36	65	100	47
100.0	14.5	26.2	40.3	19.0

質問39 働きたいと思わない方（質問35で「3. あまり思わない」「4. まったく思わない」と答えた方）に伺います。

その理由は何ですか。（複数回答可）

全 体	求 職 中 だ が 条 件 が 合 わ な い た め	病 気 や け が の た め	障 が い の た め	高 齢 の た め	学 校 に 通 っ て い る た め	た め 働 く こ と に 不 安 が あ る	そ の 他	無 回 答
102	-	58	22	67	-	17	7	3
100.0	-	56.9	21.6	65.7	-	16.7	6.9	2.9

5. 日常生活について

40歳以上の方にお伺いします。

質問40 過去1年間で国立市健康診査（健康診断）を受けましたか。

全 体	受 け た	受 け て い な い	無 回 答
290	104	171	15
100.0	35.9	59.0	5.2

質問41 質問40で健康診査を「1. 受けた」と答えた方に伺います。

健康診査を受けようと思った理由は何ですか。（複数回答可）

全 体	健 康 に 不 安 が あ る か ら	案 内 が 届 い た か ら	病 院 で 言 わ れ た か ら	に 担 当 の ケ ー ス ワ ー カ ー に 言 わ れ た か ら	そ の 他	無 回 答
104	58	48	23	6	14	1
100.0	55.8	46.2	22.1	5.8	13.5	1.0

質問42 質問40で健康診査を「2. 受けていない」と答えた方に伺います。
健康診査を受けていない理由は何ですか。（複数回答可）

上段：件数
下段：%

全 体	健康に不安がないから	案内が届いていないから	定期的から 定期的に病院に通つてい	受け方がわからないから	その他	無回答
171 100.0	20 11.7	4 2.3	103 60.2	11 6.4	40 23.4	5 2.9

質問43 コロナ禍の前には親戚や友人等と外で会うことができましたか。

全 体	ある	ない	無回答
323 100.0	203 62.8	105 32.5	15 4.6

質問44 コロナ禍の前には親戚や友人等と月に1回以上連絡をすることがありましたか。

全 体	ある	ない	無回答
323 100.0	210 65.0	99 30.7	14 4.3

質問45 質問43、質問44のどちらかで、「1. ある」と答えた方に伺います。
コロナ禍で親戚や友人等と会うことが減りましたか。

全 体	会うことが無くなった	会うことが減った	ない コロナ禍の前と変わら	無回答
232 100.0	67 28.9	137 59.1	25 10.8	3 1.3

質問46 コロナ禍の前後で生活に変化が出ていますか。

上段：件数
下段：%

全 体	大きく変わってしまった	変わってしまった	あまり変わっていない	まったく変わっていない	無回答
323 100.0	41 12.7	87 26.9	161 49.8	23 7.1	11 3.4

令和3年度国立市生活保護利用者アンケート結果概要

令和4年3月

国立市・立正大学（共同研究責任者池谷秀登）

- 連絡先 国立市 健康福祉部福祉総務課相談保護係
東京都国立市富士見台2丁目47番地の1
電話 042 (576) 2120
- 調査実施 株式会社エスピー研
東京都千代田区飯田橋3丁目11番20号
電話 03 (3239) 0071 (代表)